

2023年 第58号

とことん面倒見のよい学校

中央カレッジグループ

学園新聞

中央カレッジグループ学園新聞編集委員会 <http://www.chuo.ac.jp>

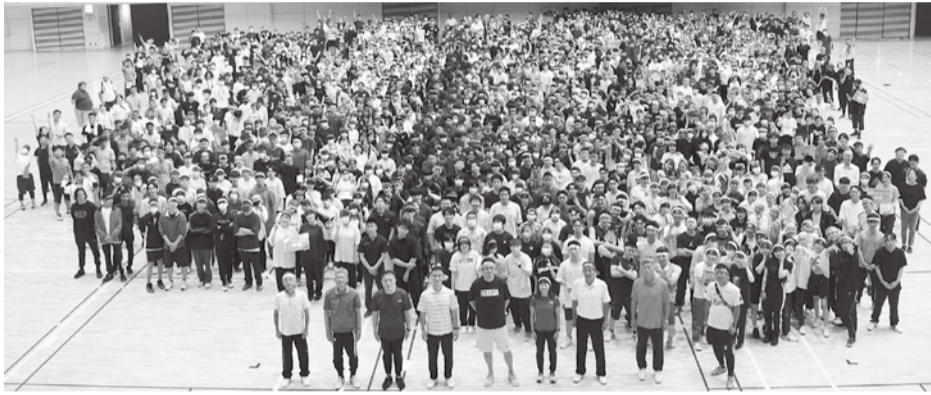
〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-49-1 TEL.027-253-1105(代) FAX.027-253-1124

中央情報経理専門学校
 群馬法科ビジネス専門学校
 中央医療歯科専門学校太田校
 専門学校 中央農業大学校
 専門学校 中央情報大学校
 高崎ビューティモード専門学校
 中央動物看護専門学校
 中央医療歯科専門学校高崎校
 中央スポーツ医療専門学校
 中央高等専修学校前橋校・桐生校
 CRI 中央外語学院
 資格の学校 TAC群馬校

4年ぶりにスポーツフェスティバル

1400人が熱戦と交流

中央カレッジグループの9専門学校合同の「スポーツフェスティバル2023」が7月21日、高崎アリーナで行われました。学生1400人が11競技に熱戦を展開、併せてクラスの親睦と他校との交流を図りました。フェスティバルが開催されるのは2019年以来4年ぶり。



学生1400人が参加したスポーツフェスティバルの開会式



「台風の目」はチームワークが大切



力を込めて綱を引く



リレーでは、バトンタッチも慎重に



チーム全員で参加した大玉送り

フェスティバルは、スポーツを通して学園グループ全体の交流はもとより、各学校・クラスの団結と親睦を目的に開催。この3年間は、新型コロナウイルス感染防止のため休止していました。

種目は徒競走や対抗リレーなどの競技系だけでなく、大玉送り、大縄跳び、玉入れなど全員で楽しめるものも多く準備し、実施されました。観客席には声援を送る学生の姿も目立ちました。

開催にあたり、サントリーホールディングス株式会社から自社製品の「GREEN DA・KA・RA (グリーンダ・カ・ラ)」1920本が提供され、今春か

ら学園所属となった元同社社員、上田 絢加さん (スキモ日本代表) がプレゼンターとして登場、学生代表も参加して贈呈式が行われました。

スキモ日本代表の上田さん 五輪目指しグループで支援

中央カレッジグループは4月1日付で、山岳スキー競技「SKIMO (スキモ)」で活躍する上田 絢加さん (2023年世界選手権日本代表) を、グループ職員として迎えました。

上田さんは、大阪・富田林市出身、神戸大を経てサントリーホールディングス株式会社に広報などを担当していました。スポーツ歴は、中学で陸上競技を始め、2017年からトレイルランニング、18年よりスカイランニング・スキモで活躍。23年にはスキモ日本代表として、世界選手権に出場しています。

毎週末トレーニングしていた群馬を本格的練習拠点にしたいと退職し、東京から前橋市に移住。中央カレッジグループに所属しながらトレーニングを積み、26年ミラノ・コルティナダンベッツォ冬季オリンピックに新種目として採用される「スキモ」のオリンピック日本代表を目指します。

中央カレッジグループでは、上田さんのオリンピック出場までのバックアップはもちろん、学園広報職員



合同スポーツフェスティバルで提供飲料プレゼンターとして登場した上田さん (左)

としての幅広い活躍も期待しています。すでにグループ各校でその経験をもとに特別講義をしているほか、群馬法科ビジネス専門学校の学生たちとシャトルラン対決も行いました。またスポーツフェスティバルでは、ラジオ体操指導、提供飲料のプレゼンターも担いました。

【上田 絢加さんコメント】

この度、中央カレッジグループ所属として活動させていただくことになりました。夢や目標に向かう学生、そしてそれを支える多くの教職員、そんな学園グループの一員になることができ、たいへんうれしい。グループの教育理念である「やって・みて・考える」を体現し、一日一秒を大切に、オリンピックに向けてトレーニングに励みたいと思います。

夢に向かって新たな一歩

合同入学式に9校748人



9専門学校合同で行われた令和5年度入学式II 前橋・ベイシア文化ホール

中央カレッジグループ9専門学校 (中央情報経理、中央医療歯科太田校、群馬法科ビジネス、中央農業大学校、中央情報大学校、高崎ビューティモード、中央動物看護、中央医療歯科高崎校、中央スポーツ医療) の令和5年度合同入学式が4月8日、ベイシア文化ホール (群馬県民会館) で行われ、合わせて748人が新たな一歩を踏み出しました。

式典では、来賓、保護者・在校生・教職員の見守る中、中島慎太郎理事長が、該当新入生の入学を許可。式辞で

検定合格など夢に向かっての活躍を激励しました。

多くの来賓を代表し、山本龍前橋市長と曾我孝之前橋商工会議所名誉会頭から中央カレッジグループの実績を踏まえ、新入生に祝辞をいただきました。

在校生代表による歓迎の言葉を受け、新入生代表9人が登壇。国家資格や検定合格などに積極的にチャレンジすることを誓いました。

また、グループの中央高等専修学校でも4月15日、本部館ホールで入学式が行われました。

学校法人 有坂中央学園

CIA 中央情報経理専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

全経の簿記能力検定試験

「上級」に島村さん合格

勉強量増やし苦手を克服

IT会計ビジネス学科2年

島村 楓さん

(伊勢崎商業高校出身)

高校生の時に簿記という分野を初めて知り、学習していくうちに興味を持ち、簿記の知識を生かした仕事をしたいと考えるようになりました。さらに、専門的な知識を身につけたいと思い日商簿記1級や全経簿記上級、税理士試験の合格が目指せる本校に入学することを決意しました。

担任の先生とクラスメートが明るく面白く、毎日楽しく授業が受けられました。そして、分からない所は先生や仲間質問すると優しく教えてく

公益社団法人・全国経理教育協会(全経)主催の簿記能力検定試験「上級」に、中央情報経理専門学校IT会計ビジネス学科2年の島村楓さんが合格しました。学習法や今後について聞きました。

れ、勉強を進めていくにはとても素晴らしい環境でした。日商簿記1級の学習は、日商簿記2級の時よりも学習する範囲が広いことに加え、難易度も上がっているため勉強量を増やしていききました。日々のミニテストや過去問題、直前対策の模擬試験では、得意な範囲と苦手な範囲との点数の差がとてもありましたが、苦手な範囲は復習し解けるようにしていききました。それでも解けない問題は先生やクラスメートに教えてもらい、あきらめず食らいつきました。しかし、11月の日商簿記1級は不合格という結果。とても悔しい思い

をし、その後は2月の全経簿記上級合格という新たな目標に向け、何が必要なのかを考え学習を進めました。

本年度から、日商簿記1級や全経簿記上級を取得していない人でも税理士試験を受験できるようになり、税理士試験の勉強をしながらの受験となりました。週に1回の授業では、主に過去問題を解き続けましたが思うように点数が伸びずあきらめそうになったこともありましたが、点数を伸ばすため、苦手な範囲の正答率をあげるために繰り返し問題を解き、理解を深めることを意識してきました。前回の悔しい気持



全経簿記上級に合格した島村さん

ちを忘れずに次は絶対に合格すると心に決め学習を続け、2月の全経簿記上級に合格することができました。合格まではくじけそうになった時もありましたが、あきらめずに続けたことで今までにない達成感や喜びを得ることができました。最後まで熱心に指導してくれた先生や仲間たちには、感謝しています。

就職活動でも今回の受験経験を踏まえ、あきらめずに頑張っていきます。今後は税理士試験に挑戦するとともに、日商簿記1級に再挑戦していきたいです。そして簿記以外の資格の学習もして、たくさんの知識をつけてから卒業し、それを生かして会計の道で活躍していきます。

夢に向かって …… 新入生に聞く

IT会計ビジネス学科
IT会計スペシャリスト専攻1年

米山 晴登さん

(前橋南高校出身)



高資格に挑戦したい

経理の仕事に就きたいことと、高資格に挑戦したい気持ちがあり、日商簿記検定1級の取得を目指すIT会計スペシャリスト専攻に入学しました。普通高校出身なので、初めての簿記学習に少し不安もありましたが、授業が進むにつれ理解も深まり、多くの問題を解いて実力をつけたいと考えるようになりました。

授業ではクラスメートとお互いに教え合いながら問題を解く時間が多くあります。教えることで理解が深まり、仲間と切磋琢磨(せっさたくま)しながら問題に取り組むこともできます。入学2カ月後には日商簿記検定2級を受験、合格することができました。次は目標である11月の日商簿記検定1級合格を目指し、頑張ります。

保育福祉学科1年
保育士・幼稚園教諭専攻

内川 結琳さん

(本庄第一高校出身)



誇れる保育教諭に

新しい仲間や環境への不安などありましたが、先生方やクラスの仲間に支えられ学校生活を送っています。私は将来、本校に誇れるような保育教諭になりたいと思っています。そのためには多くの専門知識などを習得していく必要があります。また、保育教諭になった時、子どもたちだけではなく保護者の方からも信頼されるように人との関わり方なども学んでいきたいです。

今後、つらいことや多くの壁にぶつかるとは思いますが、自分の強みは何事にもあきらめずに取り組むチャレンジ精神旺盛(おうせい)な所なので、高い壁にも自分から挑みたいのです。また、他の学科とも交流し人間関係を築き、コミュニケーション能力も身につけたいです。

医薬販売学科1年

大屋 智美さん

(伊勢崎清明高校出身)



登録販売者資格の取得を

医薬販売学科は午前学校で、薬や法規の専門知識やビジネスマナーなどを学び、午後は薬局などでインターンシップとして実務経験できることに魅力を感じ入学しました。

学習では聞き慣れない言葉が多く、インプットに時間がかかります。しかし、毎週の小テストで常に高得点を取ることにこだわり、知識が定着するよう勉強に励んでいます。また、インターンシップでは一日でも早く店舗の皆さんの力になれるように、分からないことはそのままにしないことを心がけ、質問したり、学校での学びを思い返したりしています。大変なこともあります。勉強とインターンシップを両立させ、登録販売者の資格取得を目指します。

して活躍する準備ができてきました。

医薬品の販売は、資格保有者が行い、店が開いている間は必ず店舗管理者を置き、その店舗管理者は薬剤師か登録販売者が務める規則となっています。資格が必要な仕事なので、学生の試験に向けた意気込みは特別です。登録販売者試験は4時間の筆記試験となり、5分野の項目(医薬品に共通する特性と基本的な知識、人体の働きと医薬品、

薬事に関する法規と制度、主な医薬品とその作用、医薬品の適正使用と安全対策)から120問が出題されます。試験は都道府県ごとに年1度の実施です。受験のチャンスが少ない資格なので、学生たちの意気込みはすさまじく、毎週行う模擬試験では間違えたところを本気で悔しがり、高い得点がでると、全身喜んでいきます。学習の集大成として全員合格目指し、試験に挑みます。

「SDGs活動」 身近な課題に挑戦

本校では、昨年に続き「SDGs活動」を通じて、自分たちから世の中に向けてアクションを起こす『CSCP』をスタートさせました。5月1日に新入生78人が「2030 SDGsカードゲーム」を体験しながら知識を深め、翌日には身の回りにある課題に目を向け、グループでディスカッションしながら今後の活動計画を練りました。本年度は各クラスで出された活動内容を12月まで半年間かけ、学生が主体的になって進めていきます。



カードゲームでSDGsを学んだ学生たち

IT会計ビジネス学科ではSNSを使っていく上で起こる問題を調査し相談できる窓口設置を目指します。情報ビジネス学科ではZ世代に向けて、SDGsの周知活動を行っていきます。

医療福祉秘書学科ではリサイクルBOXを設置し、リユースショップに届ける活動をします。保育福祉学科では多様性を認めることをテーマにしたパネルシアターを製作し、こども園で発表していきます。医薬販売学科では洋服などの不用品を回収し、再販売をしていく活動をしていきます。

各学科での活動内容は1月の成果発表会で報告する予定になっています。

1期生(2年)が初挑戦 本年度の登録販売者試験

医薬販売学科

本校の医薬販売学科は今年で2年目を迎えました。第1期生である2年生は、令和5年度の登録販売者試験に臨みます。入学時には薬などの知識がなかった学生たちですが、今では教室の中は専門用語で溢れ、医薬品のプロと

企業連携事業スタート 実践的スキル身に付く

情報ビジネス学科2年生

情報ビジネス学科2年生20人を対象に、4月から専攻ごとに企業連携授業をスタートさせました。授業の様子を一部紹介します。

【システム・アルファ株式会社】ICTビジネス専攻の学生12人は、前橋市にあるシステム・アルファ株式会社でお世話になり、学校で取り組んでいるSDGsのランディングページの作成をしています。大きなテーマは決まっていますが、それ以外は学生たちが主体的に企画提案をしており、閲覧するターゲット層を絞りこむマーケティング手法を用いて企画、また根拠となる効果測定を行うなど、1年次に学習した内容が総合的にまとめられています。企業から、たくさんのアドバイスをいただき、グループごとに内容やページ構成など趣向を凝らしたものでプレゼン発表に臨んでいます。



多彩な企業連携でスキルアップを図る学生たち

【果実工房ありさか】ECビジネス専攻の学生8人は、グループ企業である果実工房ありさかと協力し、顧客目線で売り上げを伸ばす取り組みを実施しています。既存顧客にリピートしてもらうために、キャンペーンの提案・実施や公式LINEの導入などを行っています。また、新規顧客を得る対策として、楽天サイトの改善などにも取り組んでおり、マーケティングやデザインなど学んだ知識を最大限発揮できていると思います。

両専攻ともに社会に出て学ぶ良い機会となりました。この経験を生かしながら引き続き学びを深めていきます。

留学生が研修旅行



国内研修旅行で東京ディズニーシーを訪れた留学生たち

2校合同でTDS楽しむ

本校国際ビジネス学科は7月6日、中央情報大学の国際エンジニア学科と合同で東京ディズニーシーへの国内研修旅行を実施しました。

事前学習では、観光ビジネスコースの学生が調べ学習を行い、全学生の前で東京ディズニーシーについてのプレゼンテーションを行いました。旅行直前とあって、みんな目を輝かせて見入っていました。そして東京ディズニーシーへ実際にいき、学校や学年、国籍を超えて交流を行いました。東京ディズニーシーのテーマパークの作りやアトラクション・パレードなどで、現在学校で学んでいる各専門分野の最新の知識や技術が実際にどのように活用されているかも実際に体験しながら学ぶ

ことができました。

本校に在籍する留学生の母国には世界的に有名なテーマパークがない国も多いため、1つ1つの体験がとても新鮮な経験だったようで、帰りのバス内でも興奮冷めやらぬ様子でした。学生は日本にある世界で唯一の「海」をテーマとしたディズニーパークにおいて、日本文化がどのように取り入れられているのかも知ることができ、充実した1日を過ごせたようです。

学生たちは、入学当初から感染症対策でイベントが制限されてきました。今回の旅行では、授業の時とは違った活気のある表情を見ることができました。この体験を今後の学生生活に生かしてもらいたいと思います。

よろしくお願いします

新任職員紹介

情報ビジネス学科

中村 早希先生



多彩な職業経験を生かしたい

春から本校の情報ビジネス学科1年生の担任をしております、中村早希と申します。生まれは東京都、育ちは大阪府、大学は島根県に住んでいました。

前職ではメーカーの製造部門で品質管理・新人教育を行う仕事をし、その後エクステリアプランナー兼広報の仕

事をしていました。Webやデザインについて学んだこともあり、この度、教務というかたちで入職しました。教育の経験は少ないに等しいのですが、さまざまな職業経験を生かしながら、仕事の楽しさを学生に伝えたいと思います。また、広報の経験も活用し、学生募集にも力を入れていきたいです。

人と話をするのがとても好きなので、私の姿を見かけましたらお気軽に話しかけていただくと幸いです。よろしくお願いします。

BBQで交流図る

医療福祉秘書学科が 新入生歓迎会

恒例の医療福祉秘書学科新入生歓迎会が渋川市にあるグランピングリゾート群馬BLISSFUL GARDEN(ブリスフルガーデン)で開かれ、1年生が先輩たちとバーベキューパーティーで交流を図りました。

景色を一望できる場所で仲間と過ごす最高の時間に、新入生のみならず上級生も群馬県の食材を使用したお肉や野菜に舌鼓を打ち、まさに笑顔満開、食欲全開でした。

料理を味わった後は、ドーム型のテントルームで学年をミックスしたグループに分かれて交流会を実施。3年生のリーダーを中心に、自己紹介や質問タイムを企画、気兼ねなく勉強の相談、進路の相談なども行いました。

学生生活で壁にぶつかったときは一人で悩まず、相談でき助けてもらえる存在、仲間の存在が心の支えになります。その意味でも、今回の交流は、学業以外の目標も立てられ、学生同士の交流も深まった良い機会でした。



バーベキューで交流を深めた学生たち

【リーダーを務めた3年生の感想】

- ・後輩に話しかけるのに苦手意識があったけれど、後輩たちが話を盛り上げてくれて安心しました。
- ・リーダーを任せられたけれどコミュニケーション能力がなく1年生が楽しめたのか不安です。次はもっと頑張りたいです。
- ・後輩たちに、私たちのようになりたいと思ってもらえるように、謙虚にリーダーシップを取りながら学科・学校をまとめていきたいです。

報告 初の教育実習を終えて

保育の重要性、肌で感じる

保育福祉学科

たくさん子どもと関わり、現場で働く先生方の姿を実際に見て、とても勉強になりました。初めての教育実習ということもあり、不安と緊張が大きかったのですが子どもたちも先生方も笑顔でやさしく、明るい雰囲気でも迎えてくださり、毎日があっという間に過ぎていき、楽しくて学びのある充実した10日間でした。

実習が始まると3歳児から5歳児クラスに順番に入り、年齢ごとの発達段階や先生方の子どもたちに対する言葉掛けを間近で学ぶことができました。学校での学びとは違い、実際に見て、聞くことにより子どもたちの考え、理解度、行動力などを肌で感じることができました。その中で自分がどのように子どもたちと関わり、支援すればいいのか迷っていると、先生方が毎日アドバイスをくれ、実践へと繋げられました。製作活動や音楽活動の際には、先生方が

子どもたちと細やかなコミュニケーションを取りながら、熱心に取り組んでいる姿に感銘を受けました。コミュニケーションをしっかりと取ることで、子どもたちも笑顔で楽しく活動に取り組めるのだと改めて感じました。

教育実習では、各学年での声掛けの違い、発達段階によってできる活動に差があること、園での共通の声掛けや援助の仕方などを学ぶことができました。その中で子どもたちの成長も目の当たりにし、保育の重要性を再認識することができました。また、保育教諭のやりがいや仕事の大変さなども実感しました。

今後の実習では今回学んだことや反省点を踏まえ、保育教諭へと近付けるように必要なスキルや資質、コミュニケーション能力を身に付け、苦手なことなどを克服できるように頑張っていきたいと思います。

※この報告は、教育実習に参加した複数の保育福祉学科学生の感想をまとめたものです。

員として入職しました。新入職員研修では、情熱をもって学生に向き合う重要さや魅力ある教職員像などについて、改めて学ぶ機会をいただきました。

私の場合は接する相手が留学生なので、日本語を勉強してよかったと思えるような授業を目標にしています。また、海外で生活している彼らの生活が少しでも快適になるようサポートができたとも考えています。今後も、専門分野についてはさらに知識や見聞を広め、自分自身を成長させられるよう、たゆまぬ努力を続けていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

国際ビジネス学科

井上 由基先生



留学生のサポート役に

本年度、皆様の仲間入りしました井上由基と申します。国際ビジネス学科の日本語指導を担当しています。

私は2019年度から非常勤職員として勤務していましたが、この度、正規職

学校法人 有坂中央学園

GLC 群馬法科ビジネス専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-48-1 TEL 027-256-7700(代) FAX 027-256-8811

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

令和5年度 公務員試験

令和5（2023）年度前半の公務員試験（主に大卒・短大卒及び早期募集）が始まり、本校学生の最終試験合格の報告が続々と寄せられています。

本年度は、8月中旬の段階で公務員試験などの最終合格者が既に50人を超え、今後も続々と合格が出る見込みです。また、まだ最終合格者が発表されていない公務員を合わせると1次試験の合格者数累計も150人を超えています。

高卒程度の公務員試験1次試験の本

警察官や自衛官、市町村職員 最終合格の報告相次ぐ

1次合格は150人超える

番は9月をメインに実施されます。本番に向け、この勢いを持続させていきたいところです。

なお、最終合格の内訳は、自衛官一

般曹候補生が31人、群馬県警察官（特別）で12人、埼玉県警察官で4人と公安職での最終合格が続々と報告されています。また、事務系では群馬県職員

Ⅱ類をはじめ、桐生市や大泉町、川越市などの市町村、東京都立病院機構、国立病院機構、水資源機構などで最終合格者が報告されています。

1次試験の好調ぶりを最終試験まで維持できるよう、学生と教員が一体となってこれからの試験に臨みます。

合格者インタビュー

本校で学び、桐生市役所の採用試験で一足先に最終合格を勝ち取った上級・教養コースの井上亜美さんに、公務員を目指そうと思った理由や試験合格のために取り組んだことなどを聞きました。

桐生市役所（採用）

国家・地方公務員上級コース【教養専攻】

井上 亜美さん

（群馬大学教育学部出身）

地域活性化に 貢献したい

▽公務員を目指そうと思った理由

学生時代に家庭教師のアルバイトで母子家庭の子どもを教えていたことがあり、その時に社会的に弱い立場の人に行政側としてのサポートをしたいと考えたことが一つのきっかけでした。大学卒業後は公益財団法人の事務職に就きましたが、多くの人々と接する仕事や文化振興を通して地域の活性化に努めたいと考え、地方公務員を目指すために退職して本校の門をたたきました。

▽クラスの雰囲気は

最初は大人しい雰囲気で、自分が一番年長ということもあり、多少不安がありましたが、慣れてくるとクラスメートも打ち解けるようになりました。みんな優しくしてくれて、とても良い雰囲気だと思います。

▽公務員試験などに向けての勉強法、面接対策への取り組み

学校の授業を受けて教養試験の点数が一気に伸びました。なかでも放課後にみんなで残って自主勉強をしたのが効果的でした。特に当日の授業や毎週行われる模試の復習を重点的に行いました。また、面接につい



桐生市役所採用を勝ち取った井上さん

ては、担任の湯浅先生に毎日放課後の模擬練習に付き合ってもらい、アドバイスいただきました。

▽ズバリ合格の秘訣は何ですか

事前に、本校の森崇先生からのアドバイスもあり桐生市への思いや魅力を一生懸命伝えたからだと思います。

▽あなたにとって合格の必勝アイテムを教えてください

両親からもらったお守りです。試験の前に欠かさず握りしめて緊張をほぐしていました。

▽これから公務員試験を受ける同級生や後輩への応援メッセージを

今やっている授業や、先生の話聞いていれば大丈夫です。そして、夢の実現に向けて自分自身を信じることです。何事にも失敗はつきもの。それであきらめては何か始まりません。失敗を糧にして次に繋げることが一番大切です。私も頑張りますので、みんなも最後まであきらめずに頑張ってください。



実務教育出版担当から講義を受ける学生たち

公務員試験について学ぶ 初級公務員ガイダンス

実務教育出版が、本校学生に最新の公務員試験情報や対策法を提供する「初級公務員ガイダンス」が、学園本部館6階ホールで行われました。

実務教育出版は公務員試験関係の出版社における最大手として知られ、本校と教育提携を結んでいます。

ガイダンスは、4月17日と6月19日の2回にわたって実施され、公務員試験で課される、教養試験、適性試験、

面接試験などのそれぞれについて、詳細なデータが提供されました。

4月の講義では、受験先の選択や自分が希望する職種で必要な条件の確認などを中心に、6月の講義では、2次試験で課される作文試験と面接に向けた準備の進め方について学びました。また、職種ごとの試験日程についての説明では、本命か否かに関わらず積極的に受験の機会を持つようにと話されました。今回得た情報をもとに、各学生が公務員合格を目指し、一層の弾みをつけていくことが期待されます。

CSCP活動を通し交流を深める 新入生オリエンテーション

新入生を対象に、合同オリエンテーションを兼ねたCSCP活動が4月10日と11日の両日2号館と3号館の教室で行われました。

これは、中央カレッジグループ80周年記念行事として行われている取り組みで、昨年度に続くものです。

新入生同士の交流を深め、いち早く仲間づくりのきっかけを作るとともに、SDGsについて学ぶことで意識変容と行動変容につなげ、目標を高くもちながら学校生活をスタートしてもらうことを目的に開催しました。

初日はカードゲームを通して、SDGsの概念や採択の経緯を楽しみながら学ぶことができました。2日目は初日の学びを踏まえて、学校としてどのように貢献できるかグループでディスカッションを行うとともに、具体的



グループでディスカッションを行う新入生

な行動計画の立案を進めていきました。最初の自己紹介では緊張した面持ちだった学生も、徐々に周囲と打ち解け、笑顔で意見交換できるようになりました。

2日間学んだことを通して、これからの勉強はもちろん、さまざまなイベントやボランティアなどで幅広く活躍し、充実した学校生活を送るとともに、目標を共にする仲間と助け合いながら切磋琢磨（せつさたくま）することで成長につなげ夢を叶えることを願っています。



人気の夏期セミナー

合格目指し 各種セミナー

本校では、長年にわたり公務員試験合格を目指す高校生や大学生などに向け、本校講師が対策授業などの各種セミナーを実施し、人気となっています。



数的推理を講義する本校講師

高校生など約100人参加 前橋・桐生で夏期セミナー

公務員を目指す現役高校生から圧倒的支持を誇る、毎年恒例の「夏期セミナー」が今年も本校会場と桐生会場で開催され、約100人が参加しました。

このセミナーは、夏休み明けからいよいよ本格化する公務員試験に備え、1次の教養試験突破に向けた対策授業を行うものです。

一般的に、公務員試験の教養問題は出題範囲が非常に広く、その中には判断推理や数的推理のように高校で習わない科目も含まれているため、対策の仕方が分からないうちに試験本番を迎える受験者も珍しくありません。当セミナーは、夏休み中の14日間の日程で公務員試験に出題されるほぼ全ての科目を網羅しました。短い期間なので、全科目の全範囲をカバーすることはせず、各科目の中でも特に大切な頻出分野を中心に授業を進めていくため、効率的に試験対策ができるのが人気の理由です。

さらに、授業のほかにも、試験本番を想定した模擬試験や、現役の公務員として活躍中の本校卒業生による

OB・OG座談会も催され、公務員を目指す受講生にとって役立つ内容盛りだくさんで行われました。

今年のセミナーも、受講生たちの意欲は極めて高く、授業に集中して取り組むことに加え、授業終了後も積極的に講師へ質問する姿や自習に取り組む様子が見受けられました。また、作文添削を講師にお願いする受講生も数多く見られ、「公務員になるためにできる限りの努力をしたい」という強い気概が窺えました。

公務員試験では、判断推理や数的推理など公務員試験特有の科目からも出題されますが、今回の授業を通じて、独学で勉強していた科目に対する不安が解消されたという受講生も多く、終了後の感想では、「問題の解き方だけでなく、効果的な勉強法も教えてもらうことができ有意義な2週間でした」との声があり、これからの勉強に自信をつけることができた様子でした。

講師一同、受講生の皆さまの健闘を祈っています。

大卒・短大卒向けに 3カ月の対策夜間講座

校外の公務員志望者を対象とした大卒・短大卒程度の公務員試験対策夜間講座が、本校で3月14日から約3カ月にわたり開催されました。

公務員試験は、高卒程度、短大卒程度、大卒程度の3つに区分されています。今回の対策講座は、大卒程度、または短大卒程度の受験希望者を対象に行われ、科目別に実践的な解き方の解説を中心に受講者の合格をサポートするものです。

大卒・短大卒程度の公務員試験では、高卒程度の試験に比べ、より高度な教養知識が問われます。

講座では、公務員試験の主要科目ともいえる数的推理、判断推理に加えて、

経済や時事対策、SCOA対策など1日1科目の完結型の講座を行いました。

今回の講座参加者には、現役の大学生のほか、社会人経験者の姿も見られ、企業などでのキャリアを社会への奉仕に生かそうという強い意志が感じられました。なかには、講座終了後に、教師に直接指導を受ける受講生や面接試験の対策などを相談する受講生も見られました。

昼間、大学や企業で学業や仕事に打ち込み、疲れているにもかかわらず、公務員を目指して夜間講座に参加する受講生の姿は、本校在校生にとっても、よい刺激となったようでした。

学生が多彩な地域貢献 ボランティア活動熱心に

本校では学科コースを問わず、多くの学生がさまざまなボランティア活動に参加しています。ボランティア活動では、さまざまな年齢・立場の人々と接する機会があり、そういった交流を通じて学生たちはコミュニケーション能力を磨きます。また、広く社会活動に参加し、地域住民のために奉仕する経験を学生時代から重ねていくことで、公務員を目指すものとしての素地を養いました。

まず、毎週火・木の放課後に学校周辺地域の清掃ボランティアに取り組んでいます。日ごろからお世話になっている地域の皆さまに感謝をしたいと考えて学生が自主的に活動しています。

また、今年も例年同様、高崎市の県民参加フェスタや前橋市のJ2ザスパクサツ群馬のホーム試合での来客誘導や各ブース補助、敷島公園での清掃、みどり市の学習支援などさまざまなボランティアに大勢の学生が参加し、地



清掃活動に参加した学生たち

域活性化の一役を担いました。また、夏休み期間には、各自が地元の夏祭りや花火大会に参加し、準備や片付け、会場清掃などさまざまな作業に携わりました。

11月以降も、高崎市のキングオブパスタやぐんまマラソンのボランティアなどに多くの学生が参加を予定しており、引き続き地域を盛り上げていきます。

ボランティア活動は、思いやりを育むと同時に、自分自身を成長させることができます。さらに、地域経済の活性化や市民の健康増進などにも大いに寄与することができます。ボランティア活動を通じてそれぞれが学んだことや得たものを、今後の学校生活や志望先での業務に生かしてほしいと思います。

県や前橋市、団体など 出前講座で知見広げる

本年5月から7月にかけて、ほぼ毎週にわたり、2年制1年のクラスを対象に、職業実践実習授業の一環として、群馬県や前橋市、群馬弁護士会などの出前講座が全12回開催されました(表参照)。

公務員を目指す学生にとって、物事をさまざまな角度から見て考えることが求められます。そこで、出前講座を通して様々なジャンルに触れ、体験することで自らの知見を広げ、公務員試験受験に役立てることが出来ます。どの講座も学生たちは真剣に取り組んでいました。



救急車が来るまでの対応

日付	講座内容	主催者
5/1	ブラック企業対策	群馬弁護士会
5/15	救急車が来るまでの対応	前橋市
5/22	避難所に学ぶ	前橋市
5/29	防犯講座	前橋市
5/31	県職員になるために	群馬県
6/5	成年年齢引き下げ	群馬弁護士会
6/12	財務省セミナー(事務系)	財務省
	水害に備えて(公安系)	群馬県
6/19	臓器移植について	健康づくり財団
6/26	手話講座	前橋市
7/3	上毛新聞社印刷工場見学	上毛新聞社
7/10	マイナンバー講座	群馬県

新任紹介

新井 孝先生
(日本史担当)
苦手意識を
持たずに



令和5年度から新井孝先生が着任しました。新井先生は大学の商学部で、中学校の社会科、高等学校の商業科、公民科の教員免許をそれぞれ取得。卒

業後は、専門学校の高等課程に勤務。その後、グループ校の通信制高校生や留学生たちを指導してきました。

本校では主に日本史の授業を担当。「日本史は原始・古代、中世、近世、近代・現代、戦後と内容が幅広く、また暗記科目ということから苦手意識を持つ学生が多くいます。しかし、他の受験者との差をつけることができる科目です。苦手意識を持たず、頑張ってください」と、アドバイスしています。

上級コース卒業式

6人に卒業証書

国家・地方公務員上級コース【教養専攻・専門専攻】卒業式が、6月29日に行われ、6人の卒業生が式典に参加しました。林康宏学校長は卒業証書を授与し、「若い時は苦労もするし失敗もする。それでも何事にも挑戦し続け



卒業証書を林学校長から受け取る卒業生

た経験は必ず財産になる。自信を持って社会人として成長してほしい」と、激励の言葉を送りました。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

CIS 中央医療歯科専門学校 太田校

〒373-0026 群馬県太田市東本町41-12 TEL.0276-25-8833(代) FAX.0276-25-8841

www.chuo.ac.jp



臨地実習に向け25人が決意誓う

令和5年度戴帽式

20期生25人の令和5年度「戴帽式」が7月13日、ロイヤルチェスター太田で厳かに行われ、学生たちは臨地実習に向け決意を新たにしました。

戴帽式は、学生たちが医療人として、歯科衛生士の仕事に対する意識を高め、責任の重さを自覚し、その決意を表明する場です。授与されたナースキャップには、自覚、責任、愛、信頼、感動、誇りの意味が込められています。

式典では、4年ぶりに1年生も参加、保護者も見守る中、学生一人一人に星野寛一学校長からナースキャップが授与されました。

学生たちは、臨地実習へ臨むために必要な知識と技術を習得し、放課後補

習などを行いながらこの日を迎えることができました。

戴帽学生に対し、当日のご来賓、太田新田歯科医師会の小野好一会長から祝辞をいただきました。その中では歯科医療の現状と歯科衛生士の役割の重要性についてお話がありました。

式典では、戴帽学生代表の渡邊萌衣さん（鷲宮高校出身）を中心に、「思いやりの心を忘れず学習した知識と技術を社会のために役立てます。歯科医療の尊厳を守り医療従事者としての責



務の重さを自覚し、常に連携と強調、博愛と奉仕の心を持ち続けます」と、全員で誓いの言葉を唱和しました。

戴帽学生は10月3日から医院などの現場で、卒業までに6カ月間の臨地実習を行います。

医療従事者の道を目指し、責任と決意を誓った学生たち④、星野学校長からナースキャップを受ける学生⑤

口腔ケアや製品知識学ば サンスター予防セミナー

5月11、12日の2日間、サンスター株式会社 в籍の歯科衛生士2人を招き、予防製品&口腔健康管理セミナーを開催しました。

【初日：導入講義と予防製品、口腔ケア】本講義では、歯ブラシの製造工程など動画を用いて学習。コロナ禍で1年次の研修旅行などが実施できなかった3年生は歯ブラシ工場の製造ラインの動画に興味を持っていました。講義では同社の特別拡大鏡を用い、歯ブラシの毛先1本1本の構造を観察。普段、肉眼では見ることでできない構造などを知ることができました。

予防製品は歯磨剤の剤型や薬効成分について、1・2年次の復習及び国家試験の対策となる内容を織り交ぜながら学習し、口腔内にてブラッシングを行いました。CPC配合リキッドゲル、1450ppm高濃度フッ化物配合、知覚過敏用・小児用2種類など8種について剤型、風味、対象者などを検討。清掃補助用具については、フロススレッダーとフロスが一体型タイプを自身の口腔内で体験しました。また、液体剤剤の使用感も体験できました。学生たちからは「さまざまな製品を実際に体験することで、患者さんに説明する時の引き出しが増えた」などの感想がありました。

講義では災害時の口腔ケアと備えについての動画も紹介されました。

“非常時に足りなかった備えがあります。それはオーラルケアだからできる防災。災害時、歯磨きができないままだと命に係わる感染症になる場合があります。いざという時にあなたを守り続けるために防災にオーラルケア”

多彩な研修や講義



セミナーで学ぶ3年生

“非常時、水は貴重です。歯磨きは液体歯磨きで。適量を含みブラッシング。水ですすぐ必要はありません。備えましょう液体歯磨き”という短い動画には強いメッセージが込められていました。この動画は、学生たちの心に深く刻みこまれたようで、「自宅に帰ったら防災袋に液体歯磨剤を準備しようと思った」との声も出ていました。

【2日目：口腔健康管理】この日の講義は、国家試験に直結する内容でした。口腔内細菌と全身の関連、口腔健康管理と効果、口腔健康管理用品、周術期口腔ケア、在宅口腔ケアなどを学びました。特に周術期の患者対応などは、動画で確認することができました。

要介護者に用いるスポンジブラシ、口腔湿潤ジェル、コンディショナーなども実際に体験。要介護者に用いる口腔ケア製品は、学生たちが日常使用することが少ないため、スポンジブラシの使用感や、力の入れ具合など具体的に体得することができました。また、口腔湿潤ジェルの粘調度の違いや使用感を知ることができました。

学生たちからは「特別養護老人ホームやデイサービスセンターにおける臨地実習の際に、今回学んだことが生かせるようにしたい」などの意見が出ました。

歯ブラシ・歯磨剤を学ぶ 医療機器メーカーを訪ね

1年生の研修旅行が5月26日に行われ、歯科医療機器総合メーカーのジーシーコーポレートセンター（東京都文京区）を訪ねました。

研修では、歯科衛生士の方から歯ブラシの特徴についての講義が行われ、



歯科医療機器メーカーを訪ね、歯ブラシを体験する1年生

ジーシーのたくさんの歯ブラシについて役割を学びました。歯磨剤についてもその種類や期間限定ミルクーとのコラボ製品も紹介いただきました。

同社の歯ブラシや歯磨剤は歯科専売品のため、薬局やドラッグストアではあまり見かけません。学生たちはこの研修で実際に歯ブラシを使うことができ、貴重な経験となりました。その後、コーポレートセンター内で最新ユニットや歯科医療機器を見学しました。

学生からは「歯ブラシにもそれぞれ特徴があることを知ることができた」「講義を受けて自分に合った歯ブラシを買いたいと思った」「さまざまな器具、洗浄用具があり、私たちはこのたくさんの器具や用具を覚えていくのだと実感、すごい職業を目指しているのだと改めて感じた」などの感想が出ていました。

楽しく社会問題学ば 1年生がSDGs研修

本校を含む学園グループで取り組むCSCP（Chuo SDGs Challenge Project）の研修第1弾「Study」が5月24日、実習室で1年生を対象に行われました。

当日は、中央情報経理専門学校（CIA）の神邊明里先生の指導で、世界規模で取り組まれているSDGsについての知識を深めるため、カードゲームを用いて体験的に学びました。

具体的には、参加者が1つの世界を意識し見立て、持続可能な将来目標に向かって経済・環境・社会などの諸問題にいかに対応していくのか、カードを使って自分自身で判断していくもの



カードゲームでSDGsについて学んだ1年生

です。楽しみながら、SDGsについて学ぶことができました。

最後には振り返りを行い、その中で、「自分やチームのことをまず考え、次にグループ、次に他のグループなどのことも考えることで、世界を見渡することができる。そして自分一人が何かをして世界が変わらないとは考えず、できることから実行していきましょう」というまとめとなりました。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

CMS 中央医療歯科専門学校 高崎校

〒370-0843 高崎市双葉町2-8 TEL. 027-310-5088 FAX. 027-310-5622

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

6期生、41人 厳かに戴帽式



戴帽式で、原和則学校長（左）と谷内晴夫高崎市歯科医師会会長（右）からナースキャップを受ける学生

責務自覚し誓いの言葉

6期生41人を対象にした戴帽式が、7月20日に市内のヒカリフルコート高崎で、来賓、在校生や保護者、講師らの見守る中、厳粛に行われました。戴帽式は臨地実習に臨むにあたり、ナースキャップを戴き、決意を誓う式典になります。ナースキャップには自覚・責任・愛・信頼・感動・誇りの意味が込められています。また、戴帽学生がキャンドルに灯をともし意味は、医療の精神・志を先輩から引き継ぐと

いう意味が込められています。式典では原和則学校長、高崎市歯科医師会の谷内晴夫会長から学生一人一人に戴帽していただきました。その後、原学校長の式辞、谷内会長から祝辞をいただきました。最後に、医療従事者としての責務を自覚した「誓いの言葉」を代表学生の茂木莉音さんを中心に学生全員で唱和しました。戴帽学生たちは、今後は900時間（2



戴帽学生全員で医療従事者としての決意を誓う

年生後半から3年生前半まで)に及ぶ臨地実習に入ります。その際にも戴帽式の誓いを忘れず、実習に臨んでもらいたいと思います。

研修や実習、積極的に

1年生がチャレンジ

カードゲームを通じてSDGsの基本学ぶ



カードゲームでSDGsについて学ぶ学生たち



課題や今後の活動について班ごとに発表

中央カレッジグループではSDGsを推進するにあたり、CSCP (Chuo SDGs Challenge Project) と位置づけ、各校で独自に取り組んでいます。本校でも1年生37人が、4月27、28日の2日間にわたって行いました。初日には、講師の指導のもと、カードゲームを通じて、楽しみながら

SDGsの本質の理解に努めました。2日目にはグループ単位で発想法を用いてディスカッションしながら個々の意見をまとめ、活動宣言の立案を行いそれぞれ発表しました。今回の研修で得たことが、今後の学生生活の中に少しでも浸透していければよいと感じました。

3年生がシャープニング実習 スケーラのメンテナンス学ぶ

3年生によるシャープニング実習が5月10日に行われました。実習では、歯石除去器具（スケーラ）のメンテナンス作業を行いました。学生たちは、しっかりと歯石が取れるように、歯石除去器具（スケーラ）の先を砥石で真剣に研いでいました。これ



器具のメンテナンス実習をする学生たち

も歯科衛生士として大切な作業となります。

2年生が患者実習



仲間の協力を得て、患者実習に挑戦する学生たち

臨地想定し、真剣に

2年生が臨地実習に向けて、8月1日に患者実習を行いました。実習では、学生同士が2人1組となり、患者と術者を交互に行いました。最初に、患者役の学生に対して施術者役の学生が、ユニットまで誘導し、当日行う施術内容の説明を行いました。その後、歯科医師からの説明を受けました。

施術者役の学生たちは椅子を下げ、ライトの位置を合わせたら全体の歯の状態を調べました。その後はそれぞれの歯の歯周ポケットの深さを測りました。

学生たちは普段、顎模型などで練習していますが、実際に人の口で行う施術は初めてです。緊張や焦りもあり、思ったようにならずに上手くできない学生が多くいました。

最後に、染め出しをして、磨き残しがないかを確認、状況にあった歯



実習中、歯科医師から説明を受ける学生たち

磨き指導をして、歯科医師から説明を受け終了となりました。

実習後の学生からは「口腔内だけでなく、ライト（照明）や周りの器具にも気を付けねばならないので大変」「ものすごく緊張して、あっという間に時間が過ぎました」「今度は上手くできるように練習して臨みたい」などの感想が多くありました。

今後も患者実習は予定されており、学生たちにはさまざまな経験をして、臨地実習に臨んでもらいたいと思います。

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CAG 中央農業大学校

〒371-0805 群馬県前橋市南町2-31-1 TEL.027-220-1200(代) FAX.027-223-2814

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

中央農業大学校に、令和5年度の新入生が加わりました。夢を抱いて入学した学生たちに将来の夢などを聞きました。

夢に向かって 新入生インタビュー

をよく見て気にかけてくださっていて、先生と学生の距離感が近い印象があります。

▽将来の夢

農業の知識と経験が社会に生かせる仕事に就きたいです。具体的には決まっていますが、農産物の活用など食に関わる仕事に就きたいです。

有機野菜を地域に

アグリビジネス学科
農業環境専攻

小島 樹さん
(埼玉・自由の森学園高校出身)



▽本校を選んだ理由

実習などを通して、実践的な農業を学べると感じたからです。

▽好きな授業科目

農業実習の授業です。皆で協力しながらコミュニケーションをとり楽しく作業に取り組んでいます。また、自然と触れ合える時間なので、とても落ち着きます。

▽先生たちの印象

いろいろな経験をしてきた先生がいますが、全体的にとっても明るく、常に話しやすい存在です。距離感が近く面白い先生もいるので楽しく過ごせています。

▽将来の夢

将来は有機栽培で野菜を生産したいと思っています。そして、その有機野菜を地域の学校に卸して、小さい子どもたちにも環境にやさしい農業を知ってもらいたいです。

生産に関する仕事したい

アグリビジネス学科
スマート農業専攻

大澤 晟尚さん
(勢多農林高校出身)



▽本校を選んだ理由

農業の専門学校に進学したいと考えていたとき参加したオープンキャンパスで、先生や先輩たちの明るい雰囲気の魅力を感じ入学しました。

▽好きな授業科目

花卉園芸概論です。授業の中でアロマオイルを嗅いだりすることもあり、座学ですが楽しく授業を聞くことができます。体を動かすことが好きなので農業実習も好きな授業の一つです。

▽先生たちの印象

座学では自らの経験を交えて授業を進めてくれるのでとても興味深く授業を聞くことができます。また、先生との距離も近く親身に相談にのって

くれます。

▽将来の夢

高校から農業に関する勉強をしているので、農業生産の仕事に就くことで。具体的な作目は学校の授業を受けながら考えていきたいと思っています。

農産物を活用する職業に

アグリビジネス学科
フードプロダクト開発専攻

富澤美彩音さん
(吾妻中央高校出身)



▽本校を選んだ理由

高校の時に学んだ6次産業化について、さらに実践的に学んでみたいと思い選びました。農業についての知識だけでなく、食や会計など関連する分野についても学ぶことができるのが魅力的だと思います。

▽好きな授業科目

農場に出て行う実習が好きです。一方的に教わるだけでなく実際に自分が作業をすることで学べるのが多くあります。いろいろな作業を行う中でクラスの皆と関わることができるのも楽しいです。

▽先生たちの印象

とても気さくに話しかけてくださる先生が多いです。学生一人一人のこと

就職内定者の声

本校で技術や知識を身に付けた学生たちが、続々と就職早期内定を決めています。内定につながった経緯や将来の夢を聞きました。

内定先：株式会社エバーグリーン富士見

狩野 泰加さん

(ファーム農業経営学科6次産業化デュアルシステムコース、太田市立太田高校出身)



声を出す練習をするとよいと思います。自分の気持ちをアピールすれば必ず内定を勝ち取れます。頑張ってください。

内定先：磯のうえん

磯 好冴さん

(農業経営学科農業ビジネス専攻、伊勢崎清明高校出身)



実家の農業を継ぐ

▽内定先を選んだ理由

私の実家は農家を経営しており、小学生のころから働く両親の姿を見ながら仕事の手伝いをしていました。そのため、幼少のころから植物を育てたりすることが好きで、将来は両親がやっている農業を継ぎ、農家として「自立したい」「やっていきたい」と思い、早い段階から心に決めていました。

▽これからの夢

来年からは、実家の農業を継いでいくかたちになるため、両親から完全に任せてもらえるように、これから両親からたくさんの知識を得ていきたいと思っています。さらに、学校で得た農業の知識と両親からの知識を組み合わせることで新たに発展させ、今以上に大きな経営体制で農業経営に取り組めるように頑張りたいです。

▽後輩たちへのメッセージ

専門学校は2年間は、皆さんが思っているより素早く過ぎ去ってしまいます。自分が将来はどんな仕事をしたいかを明確にして、その仕事に必要な資格などを今のうちに取得することが大事です。そのためは早めの行動を心がけましょう。

育苗の仕事に魅力

▽内定先を選んだ理由

私は、本校で農業を学んでいくなかで、初めは野菜生産に関わる仕事に就きたいと考えるようになりました。しかし、合同企業説明会にて育苗の会社があることを知り、野菜生産を根本から支える育苗という仕事にとっても魅力を感じ、携わりたいと強く思いました。また、ムービングベンチや接ぎ木ロボットといったさまざまな設備が充実していることも決め手となりました。常にお客さまの立場に立って苗を生産し、世の中の人の支えになれる仕事にやりがいや向上心をもって取り組むことができると考え「株式会社エバーグリーン富士見」で働きたいと思いました。

▽これからの夢

育苗の仕事は、野菜を育てるには欠かせません。学校で学んだ経験を生かし農家の方々により良い苗を届け支えていくことが私の夢です。私の苗で、収穫された野菜が食卓へ届き「美味しい」と言ってもらえるよう仕事に取り組んでいきたいです。

▽後輩たちへのメッセージ

就職活動は自ら積極的に動くことが大切です。早いタイミングから合同説明会などに参加して雰囲気を感じてみてください。面接試験では、とにかく元気よく笑顔で臨んでください。普段からあいさつをするなど



店舗試食会に参加した学生と関係者



学生たちが考案した秋限定のハンバーグメニュー2品

GGCとコラボで 新メニュー

秋限定ハンバーグ2品が完成

農業経営学科の学生たちが、6次産業商品開発の授業で、ステーキ&ハンバーグ店「GGC」とのコラボレーションを行い、9月の月替わり限定ハンバーグメニューを開発しました。

宮崎明さん(中央大学出身)と日野原怜旺さん(わせがく高校出身)が考案したのが「秋のきのこたっぷりデミたまハンバーグ」(調理写真④)。この料理は、プルプル目玉焼きとブラウンマッシュルーム・まいたけ入り自家製デミグラスソースで仕上げたもので、9月1～30日の1カ月間、GGC高崎本店・前橋小相木店・前橋駒形店で実

際に販売されます。

もう一つは、Happy Burg 倉賀野店で扱われる新メニュー「秋の和風梅おろしきのこハンバーグ」(同⑤)。本校の今井伸さん(藤岡北高校出身)と磯好冴さん(伊勢崎清明高校出身)の考案したものです。このハンバーグで使用している梅は、学生たちが農産物加工実習で漬けた梅干しを使用しています。梅の果肉と大根おろしをトッピング。残暑の疲れを吹き飛ばすようなさっぱりした仕上がります。

店舗試食会では、自分たちの考案したメニューが運ばれてくると、苦労して開発しただけに、喜びもひとしお、興奮が隠しきれない様子でした。

今後もお客さまのニーズにあった喜ばれる商品開発をしていきたいと思っています。

「スマート農業」多彩に実践

本校では時代の求めに対応し、多彩なスマート農業の実践を事業に取り入れています。その一端を紹介します。

ネギの生育データ収集

スマート農業実践の一環として、前橋市にある「彩園なかや」との企業連携が本年度からスタートしました。中屋社長は大学時代の体験から得た「食糧問題解決へ向けた生産力の向上」という目標に向け、ネギの生育データの蓄積を行っています。

本校でも毎週、学生が栽培しているネギを抜き取り、長さや太さを測定してパソコンへデータ入力を行っています。学生も毎週の計測ではありますが、それぞれが役割を分担して継続的なデータ収集に努めています。



ネギの生育データ測定

本プロジェクトでは、蓄積されたデータに気象条件も取り込みながら収穫日や収穫量を予測していきます。既に品種ごとの差異が表れており、今後の行方から目が離せません。

多機能ロボット「DONKEY」デモ走行でリモコン操作を体験

株式会社DONKEYが開発した小型多機能ロボットDONKEYのデモ走行が5月15日、本校で行われ、学生も操縦にチャレンジしました。



多機能ロボットDONKEYのデモ走行を体験

DONKEYは自動で走行する4輪の荷台です。100kgを積載し傾斜20度まで登坂可能。動力噴霧器や水を積んでもリモコン操作で軽トラックへ積み下ろしでき、散布場所も自動で走行します。

自動で追従する機能もあり、コンテナを積んで一定の間隔を置いて収穫者の後をつき移動したり、ワンタッチで走行・停止もできます。

学生はリモコン操作を行いました。ゲーム機のような感覚なのか慣れているようでした。また、DONKEYの利活用について、栽培品目ごとのアイデアも飛び交いました。

多くの有機野菜に挑戦 10アールの圃場で栽培

中央農業グリーン株式会社

中央農業グリーン株式会社では、昨年有機JAS認証を取得した圃場が10アールほどあります。本年度は有機農産物としての出荷を目指し、秋作としてジャガイモや人参などの有機栽培が行いやすい野菜のほか、花ズッキーニをはじめとするイタリア野菜や昭和のイチゴなど、バラエティに富んだ品目を栽培していく予定です。

イチゴは近年品種改良によって甘さが強いものがありますが、昔ながらの甘酸っぱい昭和のイチゴを栽培することで、主に加工用としての販売が期待でき、有機栽培というプレミアムと



有機圃場の植え付け

合わせて差別化を狙っています。

また、イタリア野菜の栽培では、イタリアンレストランと連携し、国内での栽培が少なく輸入に頼らざるを得ない野菜を生産し販売していきます。今後は、シェフであるオーナーにも実際に圃場へ足を運んでいただき、味や品質を双方で確認する予定です。レストランで提供されることを想定したうえで需要に合ったものを生産していく、これからの時代に合った農産物流通を目指していきたいと思ひます。

新任紹介

教務部

小林 優太先生
(農業実習担当)

多彩な野菜栽培
現場で実践指導



私は2月に本校へ入社後、主に実習を担当しております。前職では、営業をしていましたが教員を目指して勉強をしている中で本校とご縁があり入社し、念願の教員として働いています。

本校の実習では多くの種類の野菜を生産しており、トマトやナスなどのメジャーな野菜からイタリア野菜

などの珍しい野菜の栽培を行っています。実習は、座学で学習した内容を現場である畑で実践する貴重な場所です。学生が卒業後に、本校で学んだことを社会で生かせるように、通常の管理や機械の操作などさまざまな指導をしていきたいと思ひます。

学校の実習のほか、中央農業グリーン株式会社における野菜生産も行っています。主力品目としてネギを生産しているほか、レストランへの直接販売など多様な販売チャネルを設けて、新しい農業ビジネスとして模範となるような生産基盤づくりを目指したいと思ひます。

中央農業大学校 6次産業化施設

中央フレッシュフーズ株式会社

工場・直営売店
住所：〒370-0012 高崎市大沢町227-1
TEL 027-386-4382 <https://chuo-fd.jp/>

果実
工房
あり
さか

開店から1年半、 多彩なメニュー

9月からシャインマスカット商品も



フルーツサンドなどを製造販売する中央フレッシュフーズ株式会社が、令和4年3月にオープンさせた直営店舗「果実工房ありさか」が、本年9月で開店から1年半を迎えました。

「果実工房ありさか」は、旬の果物を素材にフルーツサンドやフルーツタルトなど多彩なメニューを展開、人気を集めています。

その品数も季節商品含めフルーツサンドが約20種類、フルーツタルトが約7種類にも及びます。

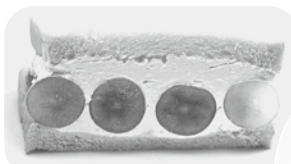
9月からは昨年好評だったシャインマスカットを使ったフルーツサン



多彩な商品が並ぶ店頭ショーケース

ドとタルトを提供します。

また販路も店頭販売だけでなく、県庁・群馬大学病院・自衛隊(新町、相馬原、練馬、朝霞)の売店、スーパーのフレッシュイ、JAファーマーズに加え近隣の大学や中央カレッジグループの各専門学校にも拡大しています。



▲9月から販売開始されたシャインマスカットのフルーツサンドとタルト



中央農業大学校生の 貴重な体験実習の場

「果実工房ありさか」の特徴の一つが、専門学校である中央農業大学校の6次産業化施設として設立され、学生が体験実習の一環として製造・販売を担当していることです。

本年度は、3人の学生たちが交代で社員の方と一緒に実習に励んでいます。学生たちはそれぞれ「お菓子とケーキの店を」「手作り商品でお客さまを喜ばせたい」「大きく農業経営を展開する」などの夢をもって

コミュニケーション能力 つきたい

実習を体験している学生の一人で食品開発を学ぶ2年生の長岡晴空さんは「ここでの実習は1年半ほどやっています。覚えることも多く大変でしたが、今は慣れてきました。お店ではパートの方とのコミュニケーションも大切なので、頑張っています」と話しています。



接客対応する長岡さん

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CID 中央情報大学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-2 TEL.027-324-8511(代) FAX.027-325-8820

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

専門分野を楽しく 子どもたちが体験

夏休み学童教室開く

中央情報大学校では、本年度も小学生を対象に夏休み学童教室「中央キッズサマーバケーション」を開催しました。学園グループで取り組むCSCP(Chuo SDGs Challenge Project)の関連企画で、開催日は8月3日、4日、8日、9日と22日、23日の6日間。

この学童教室活動は、2015年の国連総会で採択されたSDGs達成に向けて、学生が主体となって考えた企画から実施したものです。SDGsが目指す17の

目標のうち「4. 質の高い教育をみんなに」「8. 働きがいも生きがいも」を主なゴールにしています。

昨年度の夏と春に続き、今回で3回目となった学童教室では、本校の強みであるプログラミング、デザイン、電気などの専門分野について小学生が楽しく学べる体験学習を実施しました。

また、中央カレッジグループ7校が協力し、前回よりもコンテンツを充実。さらに自衛隊や群馬県警の方にも仕事

Chuo Kids Summer Vacation



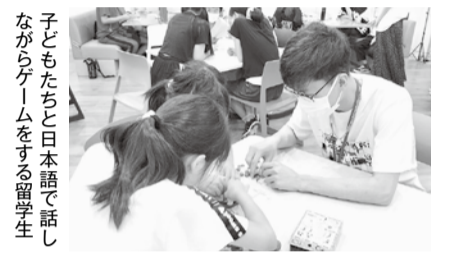
参加した子どもたちとお絵描きを楽しむ



フンボンコマ作りの説明をする学生

の説明をはじめ高機動車やパトカーの見学など、新たな学びの機会を提供していただき、内容も多彩なものになりました。

その結果、6日間で394人の小学生が参加、チャリティ募金として115,080円の寄付をいただきました。この寄付は、公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンを通して、経済的困難を抱える子どもたちの教育支援に



子どもたちと日本語で話しながらゲームをする留学生

繋げていきます。ご協力いただいた参加者に感謝いたします。

森嶋さんが最優秀賞を受賞

県警サイバーセンター主催の 情報リテラシーツールコンクール

群馬県警察サイバーセンター(以下、県警)主催の「情報リテラシーツールコンクール」が初めて開催され、情報システム学科2年の森嶋空輝さん(前橋清陵高校出身)が最優秀賞を受賞しました。

本コンクールは、県警が委嘱したサイバーパトロールコラボレーターが対象で、群馬県内で情報処理を学べる全ての大学、短大、専門学校が参加しています。

森嶋さんはSNSの使い方やネット上の危険性を学べる〇×クイズを考案して制作。「出題内容のカスタマイズ機能など、誰もが利用できるように工夫しました。基礎的な知識を身に付け、



最優秀賞を受賞し表彰される森嶋さん

自身を守る行動に移してほしい」と、制作に際してポイントなどを話しています。

この〇×クイズは県警のイベントで利用され、メディアでも取り上げられました。また、受賞をきっかけに森嶋さん自身にフォーカスした新聞記事でも紹介され、大きな反響を呼びました。社会的にも意義ある活動であり、来年も連覇を目指して活躍してほしいと思います。

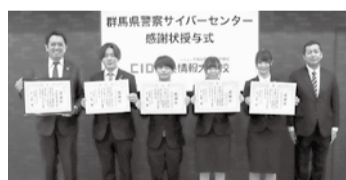
県警サイバーセンターから 本校と学生に感謝状

ネット上の有害情報の通報や啓発活動などに協力したとして、群馬県警察サイバーセンターから学生サイバーパトロールコラボレーター(CPC)4人と本校が2月9日、感謝状を贈呈されました。

CPCは県内で情報処理を学ぶことのできる全ての大学、短大、専門学校学生が委嘱を受け活動しています。

本校では有害情報を収集・通報する仕組みを自動化し、システムの改良も加えました。昨年度の群馬県全体の通報実績は約24万6千件で、そのうち99%以上が本校の通報件数でした。

また、CPCの学生たちは、県警の「ふれあいコンサート」で市民向けの啓発活動として、1400人の観客の前でサイバー防犯クイズを取り仕切りました。



県警から感謝状を受けた学生と中島学校長

今後も、学生のうちから社会貢献できる機会と技術を最大限に生かし、活動していきます。

株式会社鐵建と本校は産学連携を締結、企業業務の一部についてDX(デジタルトランスフォーメーション)化を実施しました。企業が抱える多くの課題の中から「弁当注文」と「日報作成」という課題を選定し、本校の学生がシステム開発を行いました。学生たちは企業の方々に直接ヒアリングを行い、実際のエンジニアが行う設計、

建築業界と産学連携 鐵建と本校がDX支援

開発、保守といった一連の流れを実践しました。

学生たちは「学校で教科書の内容を学ぶだけでなく、実際のお客さまと協力して業務改善に貢献できてやりがいがある」と話しています。この成果をもとに、今後も企業との連携を重視した授業を展開していきます。

本校学生が情報検定(J検)で快挙

文部科学大臣賞に齋藤さん 理事長賞は関野さん



齋藤さん



関野さん

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団主催の情報検定(J検)の情報システム試験で、本校の学生が「文部科学大臣賞」と「理事長賞」を受賞しました。

「文部科学大臣賞」を受賞したのは、高度ICTデザイン学科2年の齋藤翔琉さん(高崎工業高校出身)、「理事長賞」を受賞したのは、情報システム学科2年の関野和之さん(社会人入学)です。

J検は、情報通信技術社会のスタンダード資格で、今までに150万人以上もの出願数がある検定です。試験は3科目あり、この賞は3科目同時合格かつ成績優秀者の中から全国で年間2人だけが受賞できる特別な賞です。本校では、今後も受賞できるよう指導を続けていきます。

ITリテラシー講座など 内池先生が講師を担当

群馬県からの依頼を受け、本校教員の内池雄先生が産業技術専門校(前橋、高崎、太田)の学生370人に向け、オンラインでITリテラシー講座を実施しました。ICTを有効活用し、個別最適化学習や学びの手段の変化など、具体例を交えた体験型のアプローチを取り入れ、記憶に残る講座となりました。

また、444株式会社からのセミナー講師依頼や検定試験の作問など、活躍の場が広がっています。



教職員によるライブ配信 「CID RADIO」放送中

オープンキャンパス開催日の午後、本校YouTubeチャンネルにて「CID RADIO」をライブ配信しています=写真。この番組は、職員室での雰囲気を知ってもらい、本校に親近感を持ってほしいと始めたものです。メインパーソナリティは情報教育課の内池先生、メインゲストは広報部の原先生とデザイン教育課の柴田先生です。時にはスペシャルゲストを迎え、にぎやかに配信しています。年内に同時視聴者数100人を目標に、ライブ配信の演出をブラッシュアップしていきます。アークタイプはQRコードからご覧ください。



第三種電気主任技術者試験

難関に5人が合格

第三種電気主任技術者試験下期（3月26日実施）の結果が発表され、本校から5人が合格しました。

当試験は電気分野における難関資格で、4科目全てに合格することで資格を取得することができます。令和4年度下期の全国合格率は15.7%でした。

試験では多岐にわたる知識や技術が問われますが、合格した学生は、それぞれの分野での専門知識を身に付けアウトプットする訓練を積んだことで合格を勝ち取りました。

将来、電気主任技術者としてのキャリアを着実に築き、電気技術の発展に向けてさらなる学びと研鑽(けんさん)を積んでいくことを期待します。

【所属学科と合格者】

- ▽電気通信学科2年
 - 田中修穂（高卒認定）
 - 大島和真（藤岡中央高校出身）
 - 大出真二（足利大学附属高校出身）
- ▽電気通信学科1年
 - 角田京介（わせがく高校出身）
 - 頼富 陸（前橋工業高校出身）

高圧ケーブル交換 工事を学生が見学

電気通信学科2年生5人が4月2日、福島電気管理事務所と伊勢崎電設株式会社の協力で、高圧ケーブル交換工事を見学しました。

作業現場では、作業員たちが協力して掛け声をかけながら円滑な工事を進めている様子を見学し、実際の現場での作業手順や連携の重要性を学ぶことができました。

今回の経験は、校内だけでは学ぶことが難しい貴重な機会であり、将来の実務にも生かすことができるものです。



工事を見学する学生たち

また、見学中に、協力会社の方々全員が本校の卒業生であることを知り、さらに身近な体験となりました。

本校では、今後も実践的な見学や体験を積極的に推進し、学生たちが実際の作業を目にすることで、より深い理解と学びを得られるようにしていきます。

本校では、デザインを学ぶ学生を中心に各種コンテストに応募し、成果を上げています。採用された最優秀作品を掲載します。

ポスターコンテストで成果

「伊勢崎市観光特使ひまわりコンテスト募集ポスター」



新井さんが最優秀

9月開催の「第37回伊勢崎市観光特使ひまわりコンテスト」参加者募集用ポスターのデザインに、クリエイティブデザイン学科1年の新井杏奈さん（吉井高校出身）の作品が、最優秀賞として採用されました。

今回採用いただいたポスターは伊勢崎市内外に約1000枚掲示されました。

「高崎まつりボランティア募集ポスター」



小林さんの作品採用

「第49回高崎まつり」ボランティア募集ポスターコンテストで、クリエイティブデザイン学科1年の小林遥菜さん（伊勢崎高校出身）の作品が、最優秀賞として採用されました。

小林さんの作品は大きな花火と紫のカラーが印象的なポスターに仕上がっています。こちらのポスターは高崎市内に広く掲示されました。

印刷現場を身近に 朝日印刷を見学

高度ICTデザイン学科・クリエイティブデザイン学科2年生33人が6月15日、朝日印刷工業株式会社（前橋市）を訪問、デザインから印刷物の完成までのプロセスを見学しました。

最初に印刷の歴史について学び、その後デザイン部門を訪れ、クリエイティブなアイデアがどのように形になっていくかを見学しました。印刷工程見学では、大型印刷機や最新技術に圧倒



自分の作品データが印刷物になった喜びを体験

されながら、実際に印刷物が作られる過程を学びました。

最後には、学生たちが実際に制作したデータを、ポスターとして印刷していただきました。データ制作に不備がないかを確認した瞬間、学生たちの顔には喜びと満足感が広がりました。

渋川伊香保温泉観光協会と観光DXで連携協定締結

メタバース活用や人材育成



観光DXに関する連携協定を結んだ中島学校長(左)と関口会長(右)

メタバース空間での調印式も演出

本校は6月26日、渋川市役所内で一般社団法人・渋川伊香保温泉観光協会（関口征治会長）と観光分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）での連携、

協力に関する協定を結びました。今後、メタバース（仮想空間）の活用推進やDX人材の育成に取り組んでいきます。

本協定では、本校が持つ情報通信技術やデザイン力、電気通信技術、指導実績などの教育資源と温泉観光協会に集約される観光資源を相互に有効活用・発信し、地域社会の持続的発展に資することを目的としています。

市役所内で行われた締結式では、「観光DX（メタバース等）の利用状



況調査や実態把握」「観光DXの利用促進」などが含まれた協定書に中島慎太郎学校長と関口会長が署名しました。

同協会では、アバターで石段街を歩き回れるメタバースを制作しており、こういった制作の環境は、本校で情報やデザインを学ぶ学生にとって、生きた学びの場となる可能性があります。さらに、地域との繋がりを強めるとともに、学びの質を高める取り組みとなることが期待されています。

「CID EXPO 2024」は2月17日予定

本校では、昨年度に引き続き「CID EXPO 2024」をGメッセ群馬で2024年2月17日に開催します。当イベントは学生の技術力を集結した学習成果展示会です。

本校の強みである、情報技術分野、デザイン分野、電気通信分野の技術を集結させ、学科横断のプロジェクトチームで研究開発を行っています。来場者の方々に広く楽しんでもらえる参加型の展示として、魔法使い体験やワークショップなどを企画しています。ステージイベントでは、eスポーツ大会、留学生による日本語スピーチコンテストなどを開催予定です。ぜひ足を運んでください。



来年2月に開催される「CID EXPO 2024」

日本語学科2年生が進学ガイダンスに参加

日本語学科2年生14人が7月4日、群馬ロイヤルホテルで開催された、日本語学校の留学生向け進学ガイダンス「日本留学フェア」に参加しました。

同フェアは、コロナ禍によりオンライン開催が続いていましたが、今年は久しぶりに会場での開催。参加した14人の学生たちの中には、コロナ禍によって入国が2年遅れ、昨年4月に入国してきた生徒もいます。念願の日本での留学生生活を開始し日本語の勉強に励んできた生徒たちは卒業後、大学や専門学校など自分の将来の仕事を目指して進学する予定です。

この日は、群馬県内外から多くの専



熱心に情報収集する日本語学科生たち

門学校や大学がブース出展。日本語学校の生徒たちもたくさん参加していました。普段聞くことができない専門学校や大学の話を、他校のさまざまな国籍の生徒たちと聞くことは、大きな刺激になりました。

これをきっかけに、ますます日本語の勉強に励み、来春には全員希望の進路に進むことを目指していきます。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 美容師養成施設

TBM 高崎ビューティモード専門学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 TEL.027-310-2220(代) FAX.027-327-6344

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

TBM LIVE OF ART 2023 ~ New era ~

高崎ビューティモード専門学校伝統行事のヘアショーが、7月15日にエテルナ高崎で華麗に開催されました。新型コロナウイルスが感染法上の5類相当となり、安全面に注意しながら会場の人数制限もなく、高校生や保護者、来賓など多くの皆さまに観覧していただくことができました。

このショーは、オープンキャンパスの一環として行うだけでなく、学生たちの学習成果の発表の場でもあり、その美容技術の集大成は美容業界からも注目されるイベントとなっています。来場者で埋まった会場では、入学して3カ月の1年生と技術に磨きかけた2年生が主体となり、短期間の中でモデルの衣装合わせからヘアメイク、また舞台演出や音楽のセレクトまでを行い、イメージに合ったステージを作り上げました。モデルになった学生たち

華麗な技と美 学生たちが7ステージ

は魅せるウォーキングやポージングを研究し、本番では照明やカメラワークに至るまで一丸となって取り組みました。ショーは、恒例となっている「高崎OPA」とのコラボレーションをはじめ、本校学生の美容技術やセンスを披露する7つのステージで構成されています。ステージごとにクリエイティブな発想で、それぞれテーマを決め、一つのショーを作り上げました。



3 Hair & Make Stage

Harmonization



4 Wedding Stage



Love me like you do.



1 Opening Stage

Trend transmission!



6 Cut Stage

Signal ←

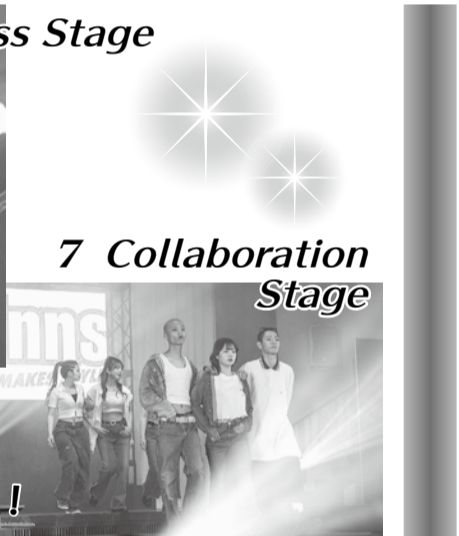
言葉のいらない
Communication

2 Dance Stage



5 Japanese Dress Stage

千紫万紅



7 Collaboration Stage

高崎オーバコラボ!

TBM LIVE OF ART 2023 ~ New era ~

本年度も本校に新たな仲間が入学してきました。夢に向かって頑張る新入生に聞きました。

美容師の夢、一直線

国際美容師学科1年

藤倉 香夏さん

(高崎工業高校出身)

私は幼いころから美容師になるという夢をもっており、それは一度も変わらず、中学生のころから通っていたと思っていた本校に入学することができました。

本校では、美容師の国家資格はもちろん、まつ毛エクステやネイルなど、自分に興味のある技術を自由選択授業などで、たくさん学ぶことができます。そのため、毎日の学校生



活はとても充実しています。

同じ美容業界を目指す仲間からたくさん刺激を受け、切磋琢磨(せっさたくま)しながら、ともに成長していきたいです。

夢に向かって……新入生インタビュー

美容部員の道に進みたい

国際ビューティ学科1年

工藤 音彩さん

(高崎商科大学附属高校出身)

私は将来、美容部員の仕事に就きたいので本校に入学しました。多くの方に、流行している化粧品を提案したり、お客様に合った化粧品を提供して、たくさんの方を笑顔にさせたいと思っています。メイクによって自分に自信を持つことの喜びを知って頂きたい。技術面だけでなく、コミュニケーション能力も上げ、お客様に「また来たい」と思ってもらえる美容部員になりたいです。



この2年間でメイクだけの知識だけではなく、エステ・ネイル・ヘア・マナーなど美容部員として働くために必要な幅広い分野の知識を身に付けて将来に生かせるように頑張ります。

本校では、高い技術や専門知識を身に付け、多くの先輩たちが早期就職内定にこぎつけています。内定理由や後輩たちへのアドバイスを聞きました。

美容師

内定先：(株) mavie

吉田 有佐さん

(理容師学科、
共愛学園高校出身)



積極的にサロンへ

▽早期就職内定の要因

1年生の時からガイダンスに参加させていただき、気になっていたサロンだったので積極的に連絡先を交換し、SNSでやり取りをしました。またサロン見学に行った後、何度もサロンに通い施術をしてもらいながら詳しく話を聞きました。その結果だと思います。

▽内定時の感想

「第一印象がとても良い」ということをサロンの方に言っていただき、「ぜひうちに来てほしい」と言われ、うれしかったです。

▽後輩へ一言

一つ一つのガイダンスを大切に、気になるサロンには積極的に行動する

高い技術や知識を身に付け

早期就職内定者に聞く

ことが大切だと思います。自分の夢に向かって頑張ってください。

内定先：(株) ケンジ

石井こうめさん

(国際美容師学科ヘア
スタイリストコース、
前橋育英高校出身)



ガイダンスも有効活用

▽早期就職内定の要因

1年生のうちから就職についてしっかりと考え、サロンガイダンスなどで気になったサロンのことを調べました。実際にサロン見学にも行き、自分自身に合う、自分の理想を現実に変えることのできるサロンを見つけることができました。

▽内定時の感想

面接の時に緊張から思うように受け答えができず、不安な気持ちがあったので、内定をいただいたときは「うれしい」という気持ちが大きかったです。

▽今後の抱負

現在は美容師国家試験合格に向けて頑張っていますが、美容師免許取得が

ゴールではないので、内定をいただいたサロンでまた新たな気持ちでスタートを切り、お客様一人一人に寄り添い、

ビューティーアドバイザー

内定先：(株) コーサー

室橋 佳奈さん

(国際ビューティ学科メイク
アップアーティストコース、
高崎商科大学附属高校出身)



企業研究を早くから

▽早期就職内定の要因

早いうちから企業研究を行い、なるべくいろいろなところの説明会に参加し、早め早めの行動を心がけてまいり

一人でも多くの人を笑顔にでき、信頼されるような美容師になりたいです。

ました。実際に企業が出している商品を使用することでより商品知識はもちろんのこと、企業への理解も深められたことが要因だと思います。

▽内定時の感想

家族や友達だけでなく、人事の方からもお褒めの言葉をいただくことができ、うれしいと思うと同時に頑張ろうとも思いました。

▽今後の抱負

お客さまとの繋がりを大切に、お客様に「またこの人に接客してもらいたい」と思っていただけのような接客をしていきたいです。

早期内定目指そう



「就職総決起大会」が4月18日、高崎シティギャラリーで行われ、早期内定を誓いました=写真。

大会は2部構成。最初に卒業生座談会が行われ、LIFE代表の松本勝也様(1期生)と株式会社不二ビューティの富川由美子様(20期生)が登場、「美容業界の現状と就職に対する意識」というテーマで後輩たちに就職活動をするための心構えをアドバイスしました。

後半は、高橋紀幸学校長が激励あいさつ、次いで各クラス学生代表者が壇上に立ち、早期内定を目指して決意表明、クラスの決意を書いた色紙を学校長に手渡しました。

GOALDの米田氏が学生たちに特別講演

メンズスタイルで有名な美容室GOALDの米田星慧氏を特別講師に迎えた講演会と就職ガイダンスが、6月12日にエテルナ高崎で行われました。米田氏は、渋谷にある美容室GOALDで執行役員をされており全国の「好きな美容師ランキング」で2021年の1位になった人気美容師です。

当日は、「その心を信じて、一步を踏み出せ」をテーマに講演。学生をモデルにして「コミュニケーション能力」と「高い技術力」を披露。「美容師の仕事は髪を切るだけではなく、お客様の心に触れる仕事」であり、「美容師=技術職ではなく、ライフスタイル想像職である」という米田節を全開。自ら

の経験談を語りながら、学生からの質問に、丁寧に答えてくれました。

講演会の最後の10分間は、マイクを捨てて、学生全員に向けて「お前たちが、やんねえからいけねんだよ。逃げんじゃねえよ」と叫び、会場の空気を一変させ、学生たちに刺激を与えてくれました。

講演後、学生たちからは、「良かった」「もっと聞きたい」「とっっても自分に対して心に残った」「美容師になる気持ちが高くなった」「とにかく熱い」などの感想が出ていました。



熱く特別講演する米田氏

卒業生の現在

22

今回紹介する卒業生は、都内の高級理容室でスタイリストとして活躍する17期生の田中瑞希さんです。



考え、ホスピタリティの精神を大切に日々の仕事に励んでいます。お客さまからうれしいお言葉をいただけることに、とてもやりがいを感じています!と、お仕事について熱く語っていただきました。

田中さんの今後のさらなるご活躍をお祈りしております。

「HIRO GINZA」八重洲店
=東京都日本橋

田中 瑞希さん (17期生)
(国際美容師学科・
理容師学科卒)

「お客さまのため」第一に

田中さんは、美容師・理容師両方の国家資格を取得、現在は高級理容室として人気のHIRO GINZA八重洲店でスタイリストとして勤務されています。

「お客様のために何が出来るかを

新任紹介

宮路 恵名先生

(教務部
ビューティ教育課)

現場の楽しさ
伝えたい



この春から本校教務部に入職し、ヘアアレンジやメイクアップなどの授業を担当しています。

元タブライダルの現場で、ヘアメイクを担当していました。そこで培った技術を学生に伝え、さらには現場で経験した喜びや大変さ、やりがいなども伝えていきます。

本校は、社会に出る前の最後の学生生活の場です。技術や知識をしっかりと身に付け、イベントなども楽しみ、より良い学生生活が送れるようにサポートしていきます。

阿久澤舞衣先生

(教務部
ビューティ教育課)

経験を
学生たちに



昨年本校でお世話になっていました。エステティシャンを経て、企業の社長秘書(総務・経理)を数年勤めてまいりました。エステの現場では、芸能界の方やミュージカル・劇団四季の方たちを施術しておりました。

肌別のカウンセリングから機械を使った施術、オールハンドのマッサージなどサロンで培った技術や知識を生かした授業づくりをしています。

1年生の担任として、学生に分かりやすく日々楽しく授業に取り組めるよう心掛け、一人一人と向き合い成長できるように努めていきます。

学校法人 有坂中央学園 国家資格 愛玩動物看護師 指定養成所・群馬サファリパーク職業教育連携校・北軽井沢地域職業教育連携校

CAN 中央動物看護専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目43-27 TEL. 027-253-7211 FAX. 027-289-4005 フリーダイヤル. 0120-15-1281

www.chuo.ac.jp



就任あいさつ

みなさんこんにちは。4月から中央動物看護専門学校の学校長に着任しました田村浩之と申します。3月まで県立高校の保健体育の教諭（専門は陸上競技）として37年間勤務し、令和3年4月からの2年間を群馬県

学生の夢実現に全力

中央動物看護専門学校 学校長 田村 浩之

立勢多農林高等学校の校長として勤め退職いたしました。

中央動物看護専門学校は「人と動物の絆」を建学精神として、本年度新たに動物美容学科を開設し、県内

唯一となるPEIAジャパンのペットエステの資格取得が可能となりました。また、動物看護学科では愛玩動物看護師指定養成



所としての認可を受け、今まで以上に「学生の夢」を実現させるための環境が整ってきていると感じています。

本校では、本年度新たに教職員6人を加え、総勢11人態勢で、未来に向かってはばたく学生を支え、皆さまのご協力をいただき、さらなる発展を目指したいと思ひます。

よろしくお祈りいたします。

夢に向かって

………新入生の抱負………

本校に令和5年度入学生として、新たな仲間が加わりました。それぞれの学科の1年生に現状と抱負を聞きました。

動物看護学科

本井 雄己さん
(高崎商科大学附属高校出身)



「現場で生かせる知識や技術を学んでいきたい」と語る本井さん

現場で生かせる知識、技術を

入学前は動物が好きで「少しでも動物の助けになりたい」という抽象的な気持ちでしたが、入学してから3カ月の間に、多くの学びと成長を得られました。特に、動物病院での職場体験を通じて病院内での流れや薬の作り方、遠心分離機による血液検査、台を拭くなどたくさんの現場実務を知ることができました。この体験から、『自発的に質問する大切さ』を身をもって学び、自らの考え方が変わりました。また、動物に対しての心得を学べたことも大きな収穫だったと感じています。

今後、実際の現場で生かせる知識や技術を学び、目標である国家資格に合格できるように充実した学生生活を送っていききたいと思ひます。

動物飼育学科

黒田 咲良さん
(広島・尾道商業高校出身)



「責任感が強くなった」と語る黒田さん

動物飼育に大きな責任感

私が本校へ入学し成長したと思うところは、時間管理に厳しくなったところと責任感が強くなったところ。

私は動物飼育学科に所属し、週に1回校外実習へ行かせてもらっています。その時の、私たちの行動一つ一つが動物の生死に関わることを意識することができ、この経験によって時間管理能力や責任感、きちんとした知識が身に付けられたと思ひます。

これから、別の実習先やインターンシップへ行くことになるので、将来動物飼育員になった時のために、多くの知識や資格を取得したいです。

動物美容学科

岡田 彩さん
(大間々高校出身)



「犬の気持ちを第一に」と語る岡田さん

犬の気持ち第一に

本校入学前は、動物と接しながら勉強をすることが一番の楽しみでした。

今も楽しく授業を受けていますが、実習の際は、「犬に負担をかけない」「不安にさせない」「グルーミングをする」など、自分の実力をつけることだけでなく、犬の気持ちを一番に考えることの大切さを含め、正しい犬の扱い方を学ぶことができました。

今後の目標は、2年間の在学中に、犬の気持ちや性格を理解できるようになることと、さまざまなカットに挑戦してグルーミングの技術を向上させ、いずれは大会への出場や資格を取得するなどです。その目標のためにも、たくさんの方の経験を重ねていきたいです。

北軽井沢地域との職業教育連携

牧場やホテルで実習始まる

本校では、2023年3月に北軽井沢地域との包括的職業教育連携を締結。それにより北軽井沢地域における実習やボランティア活動などを積極的に行っています。動物飼育学科では、教育連携先の牧場に校外飼育実習やインターンシップ実習を行いました。今回は、動物美容学科が行った取り組みを紹介します。

ホテル施設でトリミング実習

動物美容学科では、ホテルグリーンプラザ軽井沢の協力のもと、ホテル所有のトリミングサロンにて、8月18～22日の5日間トリミングサロン運営実習をさせていただきました。実習ではトリミングサロンでの受け付けから一般的な施術、爪切り、耳掃除、シャンプーブロー、会計などトリマーとしての一連の流れを体験しました。

実際のサロン施設で地域のお客さまを対象とした接客業務、トリミング業務を行うことでより具体的にトリマーの仕事内容の理解を深め、自身の将来について真剣に向き合うキッカケにな

りました。また、各々の学生が授業でなにを学ぶべきかについて考える貴重な経験になったかと思ひます。

ホテル業務では、かき氷、綿菓子、ヨーヨー釣りなどの縁日の運営も体験させていただきました。

このような学校外での実習を通して、学生の普段は見られない姿や、意外な一面も見ることができました。

この5日間でホテルグリーンプラザ軽井沢と北軽井沢地域のお客さまに動物美容学科の学生のことを知っていただけました。今回のトライアル実習は今後の学生の学びの場として次年度につながるものになったと思ひます。

このようにそれぞれの実習を通して、さまざまな経験をさせていただくことが学生により刺激となり、やる気も引き出せたのではないかと感じました。

が伝えられます。そこに向かって学生たちは業務を遂行し、「自ら考え実践することの大切さ」を学びました。



ホールハイソンのふれあい

新潟県メディアシップサファリ 学生5人がボランティア参加

新潟県で7月1・2日に開催された「メディアシップサファリ」に本校学生5人がボランティア参加。前日の動物搬入から当日の運営まで全てに携わらせていただきました。

学生たちはケツメリクガメふれあいエリア、爬虫（はちゅう）類とふれあえるエリア、ポニー乗馬の乗降サポートを担当。多くの来場者に動物たちの魅力を伝え、接し方のレクチャーを声がかかるまで頑張りました。

ボランティアでは、一つ一つ指示が出るのではなく基本的に最終目的だけ



リクガメコーナーで記念撮影

「ツナガリズム祭り」では玩具やクイズなど担当

5月7日に前橋市内で開催された「前橋ツナガリズム祭り」に、学生14人がボランティアとして参加。来場されたお客さまに「犬猫のおもちゃ作り」と「動物クイズ」を行いました。

おもちゃ作りでは「自分の家のわんちゃん、猫ちゃんへのお土産にしたい」と参加した家族は、一生懸命おもちゃを作ってくれました。動物クイズでは、多くの動物に関する問題を楽しそうに解く小学生の姿が印象的でした。

新任職員紹介

【教務部】



木村 樹瑠愛先生
(動物美容学科)



高橋 瞳先生
(動物看護学科)



赤坂 成美先生
(動物美容学科)



吉田 卓史先生
(動物飼育学科)

【業務部】



中島 侑哉先生
(広報担当)



新井 さき先生
(動物飼育学科)

厚生労働大臣指定 柔道整復師養成施設

CSM 中央スポーツ医療専門学校

(旧 前橋東洋医学専門学校)

〒371-0843 前橋市新前橋町21-16 TEL.027-253-1205 FAX.027-253-1230 HP.http://www.ist.ac.jp

www.chuo.ac.jp

CHUO

中央カレッジグループ

就任あいさつ

23年の歴史と群馬県柔道整復師養成施設の草分けとして知られる本校学校長に4月より就任した林康宏です。これまで中央カレッジグループの中央情報経理、群馬法科ビジネス、中央動物看護各専門学校長を歴任してきました。

皆さんは「為せば成る 為さねば

為せば成る

中央スポーツ医療専門学校 学校長 **林 康宏**

成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」という言葉を聞いたことがありますか。これは江戸中期、若干17歳で、現在の山形県にあった米沢藩の藩主になった上杉鷹山が残した名言で、「目標をしっかり定め、



自信を持って前向きに取り組めば、道は開かれる」という意味です。強い意志を持って最後まであきらめないで努力することが大切ということです。全ては、物事に取り組む人の気持ち次第なのです。

本校で学ぶ皆さんは、全員が柔道整復師を目指し入学したわけですから、それを実現するためには国家試験に合格しなければなりません。途中で「無理だ」「不可能だ」とあきらめたら目標は達成できないのです。先生方は皆さんの進路実現のために最大限支援しますので、皆さんには「為せば成る」を心に日々努力することで、柔道整復師という大きな栄冠をつかんでほしいと思います。

中央スポーツ医療専門学校には、本年度新たな仲間が加わりました。夢に向かって頑張っている1年生を代表して2人にインタビューしました。

夢に向かってスタート……新入生インタビュー

三俣 明さん
(桐生清桜高校出身)



憧れの職業目指す

▽柔道整復師を目指したきっかけ
小さい頃から柔道整復師という職業に憧れていて、母の勧めもあったので目指そうと決めました。

▽本校を選んだ理由

オープンキャンパスに参加した際に、学生や先生方の雰囲気がとても良く楽しそうだったので選びました。また駅から徒歩1分という立地も決め

手の一つです。

▽クラスの雰囲気は

楽しいです。テスト前などはみんなでテスト対策の勉強をしたりしています。人見知りの私ですが、このクラスはとても仲良く、いい雰囲気です。

▽授業の様子は

みんなで盛り上がる授業もあれば、全員が集中しすぎて静かになる授業もあります。

▽どんな柔道整復師になりたいですか
骨折・脱臼・捻挫などのケガを治せるだけでなく、ケガをしたときに落ち込んでしまったりするので、精神面でも支えられるような柔道整復師になりたいです。

須永 成稀さん
(大間々高校出身：
社会人入学)



信頼される柔道整復師に

▽柔道整復師を目指したきっかけ
リハビリの仕事やお年寄りと関わる仕事に憧れていました。高校の先生に勧められたこともあり、柔道整復師を目指しました。

▽本校を選んだ理由

友人が中央カレッジグループの中央情報経理専門学校に通っていて、紹介してもらいました。また、オープンキ

ャンパスに参加して、先生や先輩と話しやすかったことや駅から近いことも決め手でした。

▽クラスの雰囲気は

明るい人が多く、先生との距離感も近いです。みんな仲が良く和気あいあいとしていて、とても楽しいです。

▽授業の様子は

先生方が面白いです。先生からの質問も多く、それに答えられるように勉強をがんばっています。授業資料も分かりやすく助かっています。

▽どんな柔道整復師になりたいですか

明るく元気で話しやすい、患者さんから信頼される柔道整復師になりたいです。

頑張ってます卒業生

「おいけ接骨院 太田薮塚院」

院長 **尾池 翔太さん**
5期生・2008年卒業、
桐生南(現桐生清桜)高校出身



訪れる人たちに親身に対応する尾池院長

来院者の笑顔が第一に

▽柔道整復師を目指すきっかけ

私が柔道整復師を目指すきっかけになったのは、野球をしていた時のけがでした。高校野球最後の大会前の大切な時期だったのでピンチな状態でした。その時にリハビリをしてくださった先生に親身に対応していただき、なんと大会に出場することができたのです。高校卒業後も野球を続けようとも思っていましたが、リハビリの先生に親身な対応をしていただいた感動が頭から離れず、その先生に憧れて柔道整復師になろうと決めました。

▽学生生活の思い出

専門学校進学後は、最初のうちは勉強が大変でしたが、通学は楽しく、先生には丁寧に教えていただき、不安はありませんでした。

▽今のお仕事は

国家試験に合格した後、整形外科と

接骨院で研修後に開業。現在は太田市と桐生市で接骨院と美容整体院を運営しています。患者様は悩みや辛さをもって来ていただきますので、親身な対応をしていくことを心がけ、一人でも多くの方を笑顔に元気にしていくことが一番のやりがいです。

今思うとピンチとも思えるどん底の状態からの経験がチャンスに変わり、充実した日々を過ごしております。

目指せ 早期内定

就職ガイダンス 開く



熱気あふれる就職ガイダンス

就職早期内定を目指し6月23日に就職ガイダンスを開催しました。

今回は、接骨院をグループ展開している群馬県外の企業6社に参加していただき、3年生と2年生を中心にブース形式で行われました。

学生たちは、事前学習に興味を持った企業4社を選択し、各ブースに座り

15分ずつ説明を聞く方法で実施し、短時間でしたが、真剣に企業の説明を聞き、質問する姿もみられました。このガイダンスをきっかけに企業見学に向けた学生もいました。

9月26日には、群馬県内の接骨院や病院、介護施設に参加していただき、ガイダンスを開催する予定です。

新任紹介

星 勇人先生



現場経験を 学生指導に

真冬にキャンプを楽しむ変わり者の星です。この度、本校に入職いたしました。

学生時代打ち込んでいた柔道をきっかけに、人のけがを治す柔道整復師になりました。

前々職は接骨院に勤務し、身体のバ

ランスを整える技術を学びました。前職は整形外科でリハビリを担当し、けが直後から復帰までの経時的なアプローチや運動療法を学んできました。患者さんから笑顔が見られた時、充実した気持ちになれるやりがいのある職業だと感じています。

教職に就くことは初めてですが、柔道整復師国家試験合格という目標だけでなく、将来多方面で活躍していく学生に、現場で培った知識や将来に生かせる技術をできる限り伝えていきたいと思っています。学園の皆さま、よろしくお願いたします。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

前橋:〒371-0842 群馬県前橋市下石倉町31-20 TEL.027-253-5596(代) FAX.027-280-5270

クラーク記念国際高等学校連携校

前橋校

http://chs-clark.jp

CHUO
中央カレッジグループ

第25回入学式

夢抱き17人が新たな一歩

クラーク記念国際高校連携校・中央高等専修学校前橋校の第25回入学式が4月15日、中央カレッジグループ本部館6階で、前橋市の山本龍市長、吉川真由美教育長をはじめ、多くの来賓ご臨席のもと行われ、新入生17人が夢を抱き本校への仲間入りを果たしました。

「わくわく、どきどき」大切に 学校長

新入生たちは、来賓や保護者の見守る中、緊張の面持ちで式典に参加。須川清学校長から入学を許可されると、これから始まる高校生活に期待が高まっている様子でした。

式辞に立った須川学校長からは「心がふるえる、『わくわく、どきどき』を大切に、ここを出発点として新しい学びのスタートを切ってください」と激励の言葉が送られました。

新入生を代表して、塚田陽太さんと

山田紗愛さんから「資格取得に力を入れ、仲間と切磋琢磨(せっさたくま)しながら検定資格を取得できるよう、勉学に励みたいと思います」「応援してくれる人たちの期待に応えられるよう、努力していきます」と、力強い誓いの言葉がありました。

新入生たちにとって、普段の授業はもちろんのこと、さまざまな行事やボランティア活動を通じて、高校生として、人として成長していく3年間で、

3年ぶりの修学旅行

● 沖縄学習3泊4日 ●

3年ぶりの沖縄県への修学旅行が、6月19日から22日の3泊4日の日程で実施されました。

生徒たちは初日、眠い目をこすりながら早朝5時30分に学校を出発。初めての飛行機に興奮しながら南国沖縄へ向かいました。

2日目は、美ら海水族館で亜熱帯の魚たちを見学、ジンベエザメの迫力に圧倒されました。琉球村では、本州とは違う歴史を歩んできた沖縄の伝統文化を、紅型の衣装を着た「おばあ」の弾く三線の音色と共に味わいました。

3日目は、今回の修学旅行のメイン、「平和学習」でした。車窓から米軍基地を眺めながら、国内唯一の地上戦となった沖縄戦の戦跡を訪ねました。「ひめゆりの塔・資料館」では、同世代の子たちが戦地で、どのような体験をし、どれだけの死と向かい合い、どのような思いをもったのかを表された資料に、真剣に目を通していました。

「平和の礎・摩文仁の丘」では、数えきれないほど多くの戦没者の名が刻まれた刻銘碑、特に、遠く離れた群馬



県からも多くの方々や戦地に駆け出され命を奪われたことを知り、群馬県の慰霊塔で安らかな眠りと永久に平和が続くことを祈りました。

最終日は、復興中の首里城・守礼門を見学＝写真。那覇空港から羽田空港、そして前橋へ。病人・けが人、トラブルもなく3泊4日の行程を終えることができました。

【生徒の感想】

ひめゆりの塔・資料館は、すごく気持ちがいい。事前に学習していたけれど、実際に生徒たちの写真があり、そこであったことが細かく記されていた。そこには、自分と同年代の子たちが国のために働き、過酷な環境で必死に生きていた、生きようと頑張っていた。そして多くの命が奪われてしまったと思うと、色々考えさせられた。戦争は二度と起こってはいけないことだし、忘れてはいけないことだと強く思った。



カレー作りで交流深める

各班ともおいしいカレーライスを作ることができました。

初めて参加した1年生は「先輩との行事で緊張したけど、先輩がたくさん話しかけてくれたので良かった」と感想を話してくれました。

コロナ禍乗り越え 赤城で全校交流会

全校交流会が4月28日に赤城青少年交流の家で開催されました。新型コロナウイルス感染症が5類への移行前ということもあり、感染対策に配慮しながら全校生徒が参加できました。

生徒を11班に分けてカレーライス作りを行いました。1年生にとっては最初の大きな行事となり、先輩との活動は緊張もありましたが、協力しながら



入学式で誓いの言葉を述べる塚田さん(右)と山田さん(左)

この日から始まりました。現在は、多くの人たちに支えられている生徒たちですが、卒業時には多くの人を支えら

れる存在に育ってほしいと思います。

就任あいさつ

しなやかな対応力を

学校長代理 北爪喜久雄

世界情勢は日々刻々と変わり、人がよりよく生きるために必要な能力も変わってきています。私たちは、その変化を敏感に感じ取りながら未来を予測し、なりたい自分を思い描きながら「今日の過ごし方」をクリエートすることがとても大切です。そのためには、不測の事態にしなやかに呼応する対応力を身につけなければならぬのだと考えます。

学校での日々の暮らしの中で、自分を知り、人とどう関わり、どんな



ふうに生きるかを思う存分悩んでください。学生である今だからこそできる挑戦をしてください。私たち教員は、必要な時に必要なだけ皆さんの挑戦のお手伝いをしながら、扶(たす)け、励まし、寄り添いたいと思います。

これから先の未来、どんなに生活様式が変化しようとも、絶対になくしてはいけないものが「対応力」です。人とかかわり、物とかかわり、自分自身とかかわりながら日々悩み続け、しなやかな対応力を身につけていってください。

楽しむことを忘れず、チャレンジを

前橋校・桐生校で上田絢加さん講演

スキーマ日本代表の上田絢加さんの講演会が、6月1日に前橋校、6月16日に桐生校で開催されました。上田さんはスカイランニングやスキーマで世界大会に参加し、2026年開催のミラノ・コルティナダンペッツォオリンピック出場を目指して今春から中央カレッジグループに所属し、群馬県を拠点に活動しています。

講演で、上田さんは会社員時代の話、競技との出会い、全日本大会の話などを具体的に分かりやすく語り、どれも興味深く生徒たちの参考になりました。最後にメッセージとして語った『まずチャレンジしてみる』『ご縁を大切にすること』『過程を楽しむこと』の3つは、生徒たちに特に響くものでした。

本校の生徒は多くの検定にチャレンジします。最初の一步が踏み出せない生徒もいますが、まずチャレンジしてみることが大切だとアドバイスは有意義なものでした。上田絢加さん、講



チャレンジすることの大切さを語る上田さん(前橋校)

演ありがとうございました。

【前橋校生徒の感想】

「東京で普通の会社員だった上田さんの生活も、群馬の高校生からするとキラキラした社会人という感じがうらやましく映りましたが、全力をかけて何かに打ち込むということは、何よりも大切なのだと感じました。私も全力で取り組める何かに出会いたいと思います」

【桐生校生徒の感想】

「絢加さんのようにあきらめず目標を立てて楽しむという気持ちで頑張ろうと思います」

「これからの就職活動に生かせるように少しずつでも何か目標を立てて、達成できるように頑張りたいです」

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

桐生: 〒376-0011 群馬県桐生市相生町5-59-28 TEL.0277-53-8511(代) FAX.0277-53-8532

クラーク記念国際高等学校連携校

桐生校

http://chs-clark.jp

CHUO

中央カレッジグループ

前橋・桐生合同球技大会

フットサルで 熱戦を展開

前橋校・桐生校の合同球技大会が、7月13日にヤマト市民体育館前橋で開催されました。

両校の交流と親睦も兼ねた大会の競技種目はフットサル。生徒たちは体育の授業でミニサッカーは練習していますが、室内でのフットサルは初めての経験。当日は、失敗も含め新たな競技

に触れ、楽しい体験をすることができました。

大会は、各学年クラスで5人のチームを編成し、午前はリーグ戦を実施。午後はその結果から順位決定戦を行いました。熱戦の結果、男子優勝は前橋1年チーム、女子は前橋3年A組チームが優勝しました。桐生校の仲間も頑



フットサルに熱戦を展開した合同球技大会

張りました。

参加した生徒からは「みんなで楽しく参加できてよかった」「外は暑い夏ですが、体育館内は快適で、思う存分プレーできて楽しかったです」「1年生の男子が上手でびっくりしました。

そして、みんなが一生懸命プレーしていて素晴らしかったです」などの感想が聞かれました。

秋には体育祭を予定しているので、また全員が全力で取り組んでくれることを期待しています。

学校・地域挙げてSDGs活動

ペットボトルキャップ回収

昨年度から行っているSDGs活動として、桐生校では飲み終わった後のペットボトルキャップを回収してきました。

この活動は、生徒・保護者・教員だけでなく、チラシの作製&配布を行い、地域の方々にも協力していただき1年間で28350個(約56700g)のキャップを集めることができました。

集めたペットボトルキャップは、専門の回収業者によってリサイクル資源として売られ、売られた際の売却益がNPO法人への寄付となります。寄付されたお金によって、世界中で困っている子どもたちがワクチン接種することができます。今回、本校が集めたキャップで約28.3人分のワクチン寄付が



回収された大量のペットボトルキャップを業者に渡す生徒たち

できました。

本校では、子どもたちを助けるだけでなく、リサイクル資源の活用、ごみの分別、クリーンな社会にも役立つこの活動を、これからも続けていこうと考えています。



校外研修で富弘美術館を訪れた生徒たちと教職員

富弘美術館を見学 2コース合同校外研修

桐生校の総合コース・ベーシックコース合同校外研修が4月27日に行われ、わたらせ渓谷鉄道とバスを乗り継いで、みどり市にある富弘美術館へ行ってきました。初の合同研修ということで、生徒たちは慣れない中、緊張した様子で見学していました。

富弘美術館は、詩画家の星野富弘さんの故郷である群馬県みどり市東町に建てられ、美しい山並みと穏やかな

清流に包まれていました。

星野さんは、不慮の事故による障害から絶望の淵に突き落とされ、辛い闘病生活を強いられました。そこから救い上げたのは母親の献身的な看護と口に筆をくわえて絵を描くことだったそうです。

生徒たちは、このような星野さんの人生について、そして1つ1つの作品が、口にくわえた筆で描かれたと思えないほど、丁寧に描かれていることについて考えながら熱心に見学していました。

自然のありのままの姿を透明感あふれる水彩で描いた絵、作品から私たちは「生きることの素晴らしさ」「生きる勇気」を与えられました。同館見学後は、美術館の周りを散策。空気も澄んでいて、山の景色もすごくきれいで素晴らしい研修ができました。

「ベーシック」「総合」 ゲームや体育で交流会

ベーシックコースは、本年度から毎週金曜日に授業日に移り、総合コースの生徒と顔を合わせる機会が増えることから、4月14日に両コースの交流会を行いました=写真。

当日は、自己紹介・簡単なゲーム・集合写真などを行い、初めはそれぞれ緊張していましたが、終わるころには



名前を覚え、楽しく交流できました。

さらに、日を改めて体育の授業と一緒にに行いました。卓球の授業では、1対1で協力してラリーを行い、声を掛け合いながら楽しそうでした。

サツマイモ苗300本植える 小久保農園で農業体験

恒例の農業体験が6月8日に行われ、毎年お世話になっている太田市藪塚本町の小久保農園で、総合コース・ベーシックコースの生徒が協力して、サツマイモの苗約300本を植えました。

体験を終えた生徒たちからは、「均等に穴を開け、そこに苗を植えていくのが難しく苦戦しました」「すべて手作業でやっていることに驚きました」



農業体験した生徒たち

「植え始めて30分くらいで、腰や足が痛くなりました」などの声が出ていました。この体験から農家の大変さ、食物への感謝などが理解できたようです。

ITから美容、歯科まで グループの専門学校見学

5月18日、グループ校である高崎市内の3専門学校見学に行ってきました。訪問したのは中央情報大学校・高崎ビューティモード専門学校・中央医療歯科専門学校高崎校です。

中央情報大学校では、数字から位置情報を携帯で読み取り、場所を特定する謎解きゲームのような体験を行いました。参加した生徒たちは、それぞれ自分のスマホを操作しながら謎を解いていました。

高崎ビューティモード専門学校では、ヘアアイロンを使って巻き髪を作る体験を行いました。マネキンの髪を2人1組になり、巻き髪を作り後ろで丸めて仕上げるなど専門的なことを体験しながら教えてもらいました。「自分の髪をやるのと違って、お



体験授業に挑戦する生徒たち
中央医療歯科専門学校高崎校で

客さん(マネキン)の髪型を作るのは難しい」と話している生徒もいました。

中央医療歯科専門学校高崎校では、実際に歯を治療する機材を使わせていただき、10円玉を磨く体験をさせていただきました。生徒たちは、集中して歯を削るように10円玉を磨き、ピカピカにしていました。

どの学校も専門的授業がほとんどで、それぞれ参加した学校で熱心に説明を聞いていました。進学を考えている生徒にとっては、参考になる体験となりました。

SUMMER DAY CAMP

キャンプ楽しむように 園児・児童が英語に親しむ

「英語村」に155人集う

中央外語学院恒例のサマーデイキャンプが、前橋市嶺町にあるCHUO Global Village—前橋英語村—（中央グローバルビレッジ）で、7月末から8月上旬にかけて開かれました。

今年のテーマは「STEAM」。本学院の生徒・一般募集（県内外）含め園児74人、小学生81人の合計155人の子どもたちが参加しました。

園児たちは7月25日、8月1・8日に、小学生は7月27・28日と8月3・4・9日に、イントロダクション・入国審査から外国人講師たちと一緒にシチュエーション英会話（ファストフードやクリニック）をはじめ、ランチを含め、トレジャーハントやさまざまなアクティビティ（クラフト、科学実験、クッ



いろいろな場面を想定した英会話も体験（病院での会話）

キング、アートなど）を体験。プログラム終盤には、くす玉割のようなゲーム「ピニャータ」を楽しみました。

参加者は、最後に修了証を受け取り、楽しみながら英語に触れた夏の日が終わりました。



▶トレジャーハントに参加した小学生たち

▲サマーデイキャンプに参加した園児と講師たちと講師



資格の学校 **TAC** 群馬校

お申し込みお問い合わせは資格の学校TAC

〒371-0805 群馬県前橋市南町3-14-1 TEL 027-226-1823 FAX 027-243-5300

人生100年時代をサバイバル！ 「今、取りたい資格」大公開

2023年発表！人気資格TOP 10

今や人生100年時代。時代を生き抜くために必要な、今人気の資格ベスト10を紹介します（TAC調査）。

1位 簿記検定

業界を問わず必要なスキルが身に付くため人気は常に上位をキープ。社会的に高い信頼と評価を得ています。

2位 公認会計士

ビジネスフィールドは無限大。社会的地位が高く、将来性・安定性も抜群。経済社会のあらゆるシーンで活躍するのが魅力です。

3位 社会保険労務士

人事・労務管理・社会保険のエキスパート。医療保険や年金制度など「人」に関する問題を中心に扱います。

4位 税理士

企業経営を支える税務・会計のスペシャリスト。税務・会計をベースにしたコンサルティングを通して企業経営の安定・発展に貢献できます。

5位 宅建士

圧倒的な受験者数を誇る国家資格。不動産業界はもちろん一般企業でも宅建士の知識は有効です。

※6位以下は次の通り。

6位 中小企業診断士

7位 情報処理・パソコン

8位 ファイナンシャルプランナー

9位 行政書士

10位 建築士

【解説】働き方の多様化やお金の知識の必要性から、関連する資格の人気が高まっています。

学生に人気！

★公務員

ダイレクトに世の中を支える仕事ができる点、そして雇用の安定性が保証されている点が、「変化の時代」において注目されています。

★USCPA（米国公認会計士）

「英語×会計」という専門性の高さに需要があることや「USCPAを取得して監査法人で働く」という選択肢が学生の間でも浸透してきたことが、人気の一因です。

女性に人気！

★社会保険労務士

今、「働き方」への注目度は年々高まっています。他の士業に比べて女性比率が高いのが特徴です。自宅で開業しプライベートと両立しながら働く、企業内でキャリアアップを目指すなど、資格の生かし方が多岐にわたっている点が人気です。

★司法書士

全体の約5分の1とまだまだ少数派

お得な講座キャンペーン情報

行政書士 夏の早割キャンペーン

対象：プレミアム本科生プラス

期間：10月31日まで

・通常受講料から77,000円割引

である女性司法書士は社会的需要も高く、長く働き続けたい女性が目指すのにぴったりの資格です。

「2024年度合格」めざして

公務員対策講座を順次開講

本校では、この春より2024年を合格目標とした公務員試験対策講座を順次開講しています。就職先として一番の人気がある公務員。民間就職を意識しながらも公務員受験を併願する学生が増えています。

それに対応し本校では、各大学向けにカスタマイズして、大学独自のオリジナル公務員講座を展開しています。新型コロナウイルス感染も緩和され、オンライン授業から対面授業へと変わり、臨場感あふれる教室授業には活気があふれています。

講師を派遣して実施する学内講座も、5月開講の高崎経済大学を皮切りに順次開講中です。高崎経済大学では、156の方が講座を受講しており、県内外、国家公務員や地方公務員を目指して日々、学習に取り組んでいます。

本校では、一人でも多くの方が最終合格を手にするよう、とことんサポートしていきます。